






安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。










 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




表示の例

	記号は注意を促す内容があることを告げる記号です。
	記号は禁止の行為であることを告げる記号です。 記号の中に具体的な禁止内容が描かれています。 (左図の場合は、“分解禁止”を表します。)
	記号は行為を強制したり指示する内容を告げる記号です。 の中に具体的な禁止内容が描かれています。 (左図の場合は、“アースを接続してください”を表します。)





本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。









警告

	<ul style="list-style-type: none">アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
	<ul style="list-style-type: none">表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。延長コードの使用は避けてください。電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。
	<ul style="list-style-type: none">本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにON/スタンバイボタン、主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずON/スタンバイボタン、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。機械の上に置いたものがこぼれたり、機械の中に入った場合、火災や感電の原因になります。
	<p>《ワイヤレスリモコン用電池》</p> <ul style="list-style-type: none">電池は、リコー指定のものを使用してください。指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、+と-の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。
	<p>《電子ペン用電池》</p> <ul style="list-style-type: none">電池は、リコー指定のものを使用してください。指定以外の電池は使用しないでください。

	<p>電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池を電子ペン内に挿入する場合は、+と-の向きに注意し、電子ペンの表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量のきれいな水で洗い流してください。炎症などの原因となります。
	<p>《ワイヤレスリモコン用電池》</p> <ul style="list-style-type: none"> 破裂の恐れがありますので、充電、ショート、火中に投入、加熱、分解しないでください。
	<p>《電子ペン用電池》</p> <ul style="list-style-type: none"> 破裂の恐れがありますので、充電、ショート、火中に投入、加熱、分解しないでください。 新しい電池と、使用した電池や異種の電池を混用しないでください。
	<p>《電源プラグに2極変換アダプタを使用したとき》</p> <ul style="list-style-type: none"> アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

注意

	<ul style="list-style-type: none"> 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	<p>《本機のみを移動するとき》</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機の質量（重量）は約82kgあります。本機のみを移動するときは、必ず5人以上で作業を行い、所定の位置を持ち、移動してください。倒したり、落したり、また所定の位置以外を持つと指をはさんだりして、けがの原因になります。 転倒防止金具は外さないでください。倒れたりして、けがの原因になります。
	<p>《専用台付き本機を移動するとき》</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械を移動するとき、必ず2人以上で作業を行い、転倒防止スタンドのアジャスターの固定とキャスターのロックを外してから、必ず左右2箇所の移動用取っ手を持ち、移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。 機械の移動中は、転倒防止スタンドにより固定されていません。傾斜している床などを移動する場合は、十分に注意してください。 機械を移動したら、キャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	<p>《本機と専用台を分離して、移動/設置するとき》</p> <ul style="list-style-type: none"> 専用台から本機を取り外すとき、また本機を専用台に載せるときは、必ず5人以上で作業してください。倒したり、落としたりして、けがの原因となります。 転倒防止スタンドを取り付けた専用台に本機を載せて設置場所が確定したら、必ずキャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。動いたり、

	倒れたりして、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグは、年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • キーボードテーブルには5kg以上の機器や物を載せないでください。また、手や足なども載せないでください。キーボードテーブルの落下により、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • タッチパネルは強くたたかないでください。強くたたくと割れて、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 危険ですので、レーザー光を直接のぞき込まないでください。
	<p>《専用台付き本機をお使いの場合》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。

使用上のご注意

レーザーについて

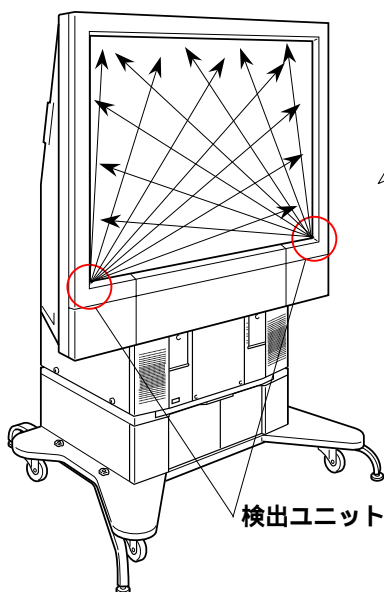
⚠ 注意



- 危険ですので、レーザー光を直接のぞき込まないでください。

本機は「クラス1レーザー製品」です。レーザー光は、下図のように検出ユニットから対角のスクリーンの額縁に向かって、扇形に放射されています。

また、クラス1レーザー製品を示すラベルが、本機内部にある2箇所の検出ユニットに貼付されています。



クラス1レーザー製品

ラベル

レーザー放射の仕様

- 放射波長：653nm
- 放射出力：200 μ W
- パルス周波数：100Hz
パルス幅：5ms

“注意 - ここに規定した以外
の手順による制御や調整は、
危険なレーザー放射の被ばく
をもたらします。”

タッチパネルについて

⚠ 注意



- タッチパネルは強くたたかないでください。強くたたくと割れて、けがの原因になります。

重要

- タッチパネル表面に汚れ、異物が付着すると、誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、水または水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸してよく絞り、軽く拭き取ってください。
- 指や電子ペン以外のものを使用しないでください。硬いものを使用するとタッチパネル表面を傷つけてしまいます。

キーボードテーブルの積載重量について

⚠ 注意



- キーボードテーブルには5kg以上の機器や物を載せないでください。また、手や足なども載せないでください。キーボードテーブルの落下により、けがの原因になります。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。




- テレビやラジオからできるだけ離す
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- コンセントを別にする

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置時の固定と転倒防止について

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">• 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。• ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	《本機のみをお使いの場合》 <ul style="list-style-type: none">• 転倒防止金具は外さないでください。倒れたりして、けがの原因になります。
	《専用台付き本機をお使いの場合》 <ul style="list-style-type: none">• 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。• 転倒防止スタンドを取り付けた専用台に本機を載せて設置場所が確定したら、必ずキャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。

重要

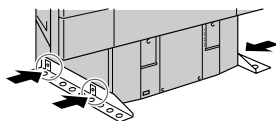
- 専用台以外の台や机などに、本機を載せて使用しないでください。本機の質量（重量）は約 82kg あります。載せると台や机がぐらついたり、傾いたりします。

ご使用になる前に、以下のように本機が固定されていること、そして転倒防止が施されていることを確認してください。

専用台付き本機をお使いの場合は、次ページをご覧ください。

本機のみをお使いの場合

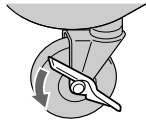
転倒防止金具の締結



本機と転倒防止金具を固定ボルトで4ヶ所を確実に締め付けてください。

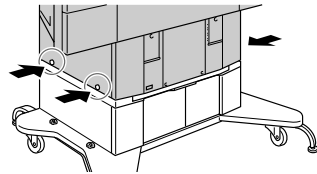
専用台付き本機をお使いの場合

キャスターのロック



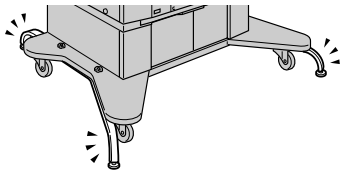
4つのキャスターを全てロックレバーで固定してください。

本機と専用台の締結



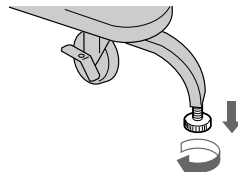
本機と専用台を固定ボルトで4ヶ所を確実に締め付けてください。

転倒防止スタンドの取り付け



専用台に転倒防止スタンドを必ず取り付けてください。

転倒防止スタンドのアジャスターの固定



転倒防止スタンドのアジャスターを回して、床に接地させてください。

目次

安全上のご注意	i
使用上のご注意	v
レーザーについて	v
タッチパネルについて	vi
キーボードテーブルの積載重量について	vi
電波障害について	vi
設置時の固定と転倒防止について	vii
目次	ix

使用前の準備

各部の名称とはたらき	2
本体正面	2
本体背面	3
コントロールパネル	4
フロント端子部	5
リア端子部	6
ワイヤレスリモコン	7
移動と設置	8
本機だけの移動と設置	8
専用台付き本機の移動と設置	11
専用台からの本機の取り外し、移動、設置	16
ワイヤレスリモコンの取り扱い	18
初めての使用	18
電池の交換	19
外部機器の接続方法	20
専用台付き本機への外部機器の収納	20
フロント端子部への接続	21
リア端子部への接続	22
本機主電源の接続	23
専用台の使い方（オプション）	24
梱包内容と各部の名称	24
転倒防止スタンドの取り付け	25
本機を専用台に載せる	27
転倒防止スタンドの取り外し	28

操作方法

電源のオン/オフ	30
電源オン	30
電源のオン/スタンバイ	31
電源オフ	32
基本操作	33
ワイヤレスリモコンの使い方	33
コントロールパネルの使い方	34
映像の切り替え	35
パソコンおよびビデオの映像を自動調整する	37
パソコンの映像の位置を調整する	37
映像を拡大して表示する	38
映像を消去する	38
音量を調整するには	39
マイクを接続する	39
映像調整メニューの使い方	40
基本的な使い方	40
映像メニュー	44
入力メニュー	45
表示メニュー	46
その他メニュー	46
無信号時のメニュー	47
キーボードテーブルの使い方	48

タッチパネル操作

タッチパネルの基本操作	52
タッチパネルへの触れ方	52
指のタッチ操作	53
リコータッチパネルドライバーのインストール	55
Windows 98 へのインストール	55
Windows Me へのインストール	58
Windows 2000 へのインストール	60
Windows 95 へのインストール	63
Windows NT へのインストール	65
アンインストールと再インストール	67
タッチパネル機能の設定	68
タッチパネル機能の開始と終了	68
一般設定	69

初期設定.....	70
管理情報.....	76
自己診断.....	77
SC ログ.....	78

メンテナンス

異常時の処置	80
修理を依頼する前に	81
現象による状態チェックと処置.....	81
インジケーターによる状態チェックと処置.....	83
メッセージによる状態表示と処置.....	85
額縁とスクリーンの隙間の落下物を取る.....	87
お手入れ	88
外装のお手入れ.....	88
タッチパネルのお手入れ.....	88
光源ランプの交換.....	88
内部の掃除.....	89
電源プラグの清掃.....	89

付録

アフターサービスについて	90
パソコンからの本機の制御	92
インターフェース.....	92
制御コマンド構成.....	93
制御シーケンス.....	94
操作に関する機能.....	95
デフォルト設定コマンド.....	96
質問コマンド.....	96
回答コマンド.....	97
エラーコマンド.....	98
フレームエラーコマンド.....	98
仕様	99
製品仕様.....	99
オプション製品仕様.....	100
外形寸法図.....	101
設置スペース.....	102
登録されている RGB 信号形式.....	103
索引	123

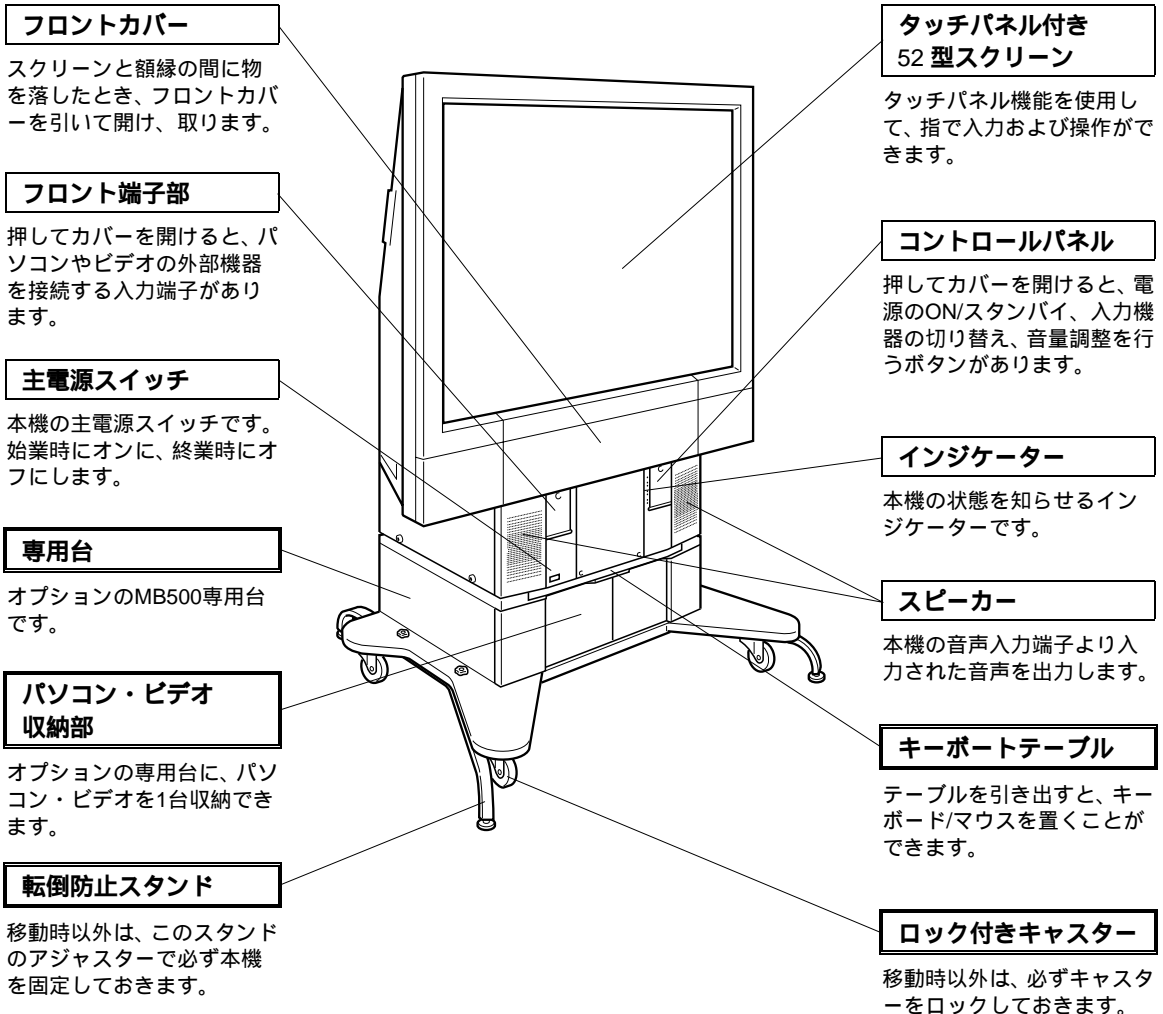



使用前の準備



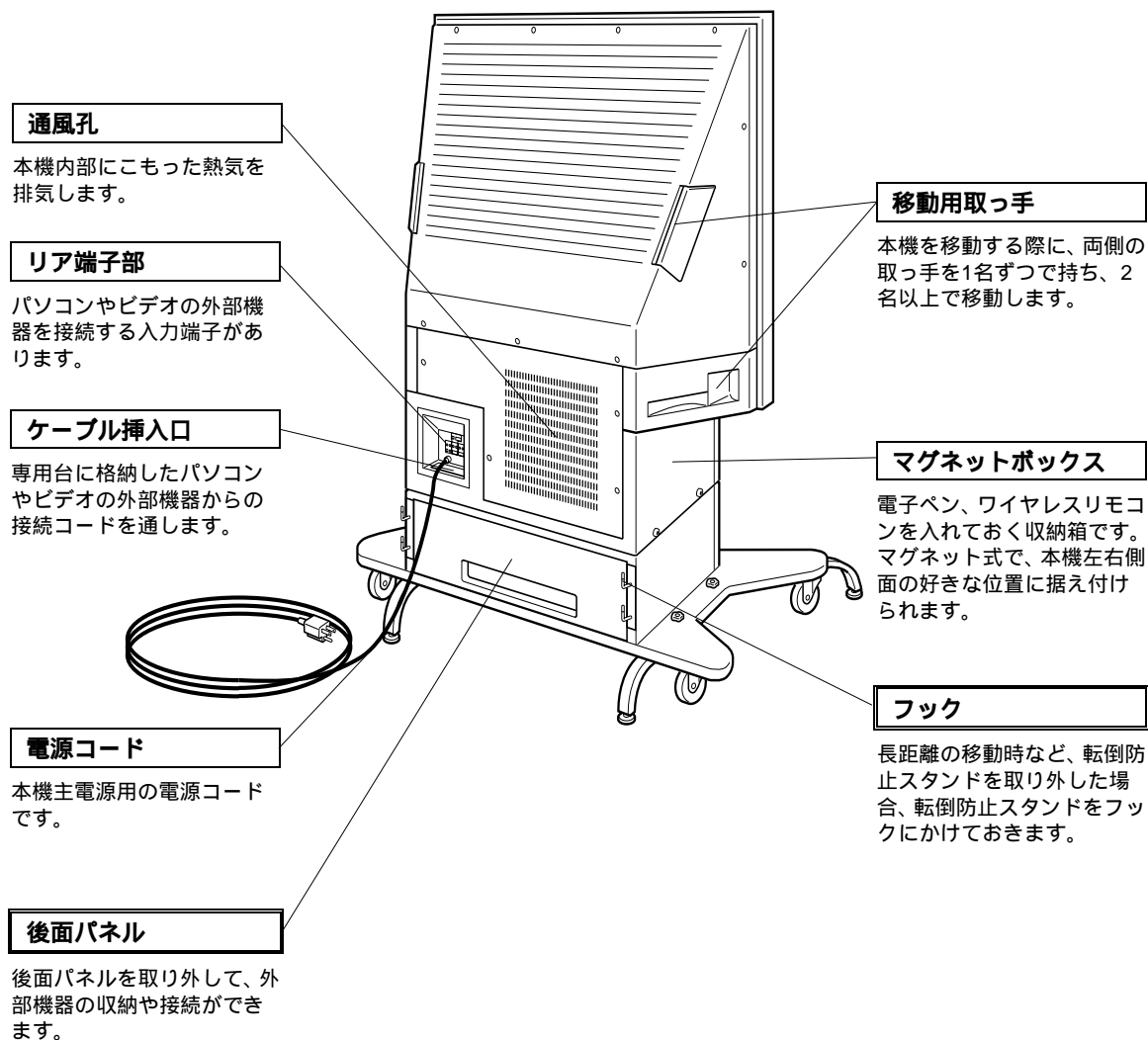
各部の名称とはたらき

本体正面



で示されている名称は、オプションの専用台の各部を指します。

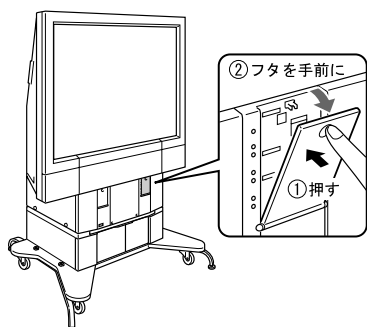
本体背面



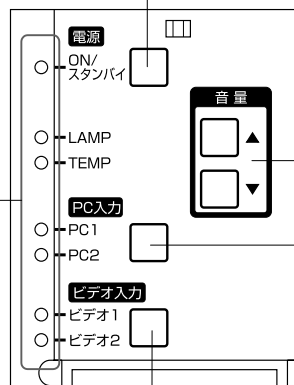
イラスト訂正：マグネットポケット追加

で示されている名称は、オプションの専用台の各部を指します。

コントロールパネル



インジケータ
本機の状態、電源のオン/オフ、接続されているパソコンやビデオの選択状況を知らせるインジケータです。



**電源
ON/スタンバイ ボタン**

主電源がオンの状態のとき、電源のオン/スタンバイを切り替えます。

音量ボタン

スピーカーの音量を調整します。

PC 入力ボタン

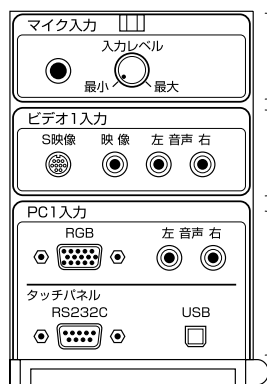
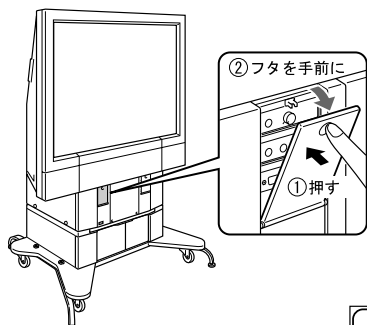
本機に接続されたパソコンの系統を切り替えます。

ビデオ入力ボタン

本機に接続されたビデオの系統を切り替えます。

インジケータが表示する本機の状態や異常な状態の対処については、「インジケータによる状態チェックと処置」(P.83)を参照してください。

フロント端子部



マイク入力

モノラルマイク用のマイク端子です。
入力レベルのつまみで音量を調整します。最小まで回すと、音を消すことができます。

ビデオ1入力

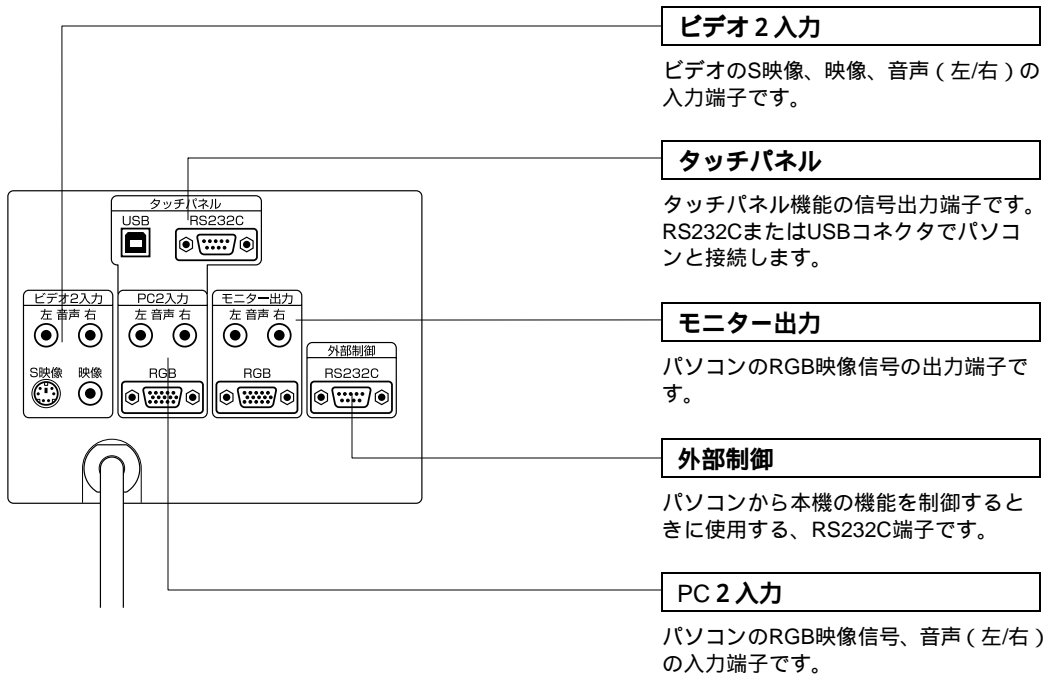
ビデオのS映像、映像、音声（左/右）の入力端子です。

PC 1入力

上段は、パソコンのRGB映像信号、音声（左/右）の入力端子です。
下段は、タッチパネル機能の信号出力端子です。RS232CまたはUSBコネクタでパソコンと接続します。

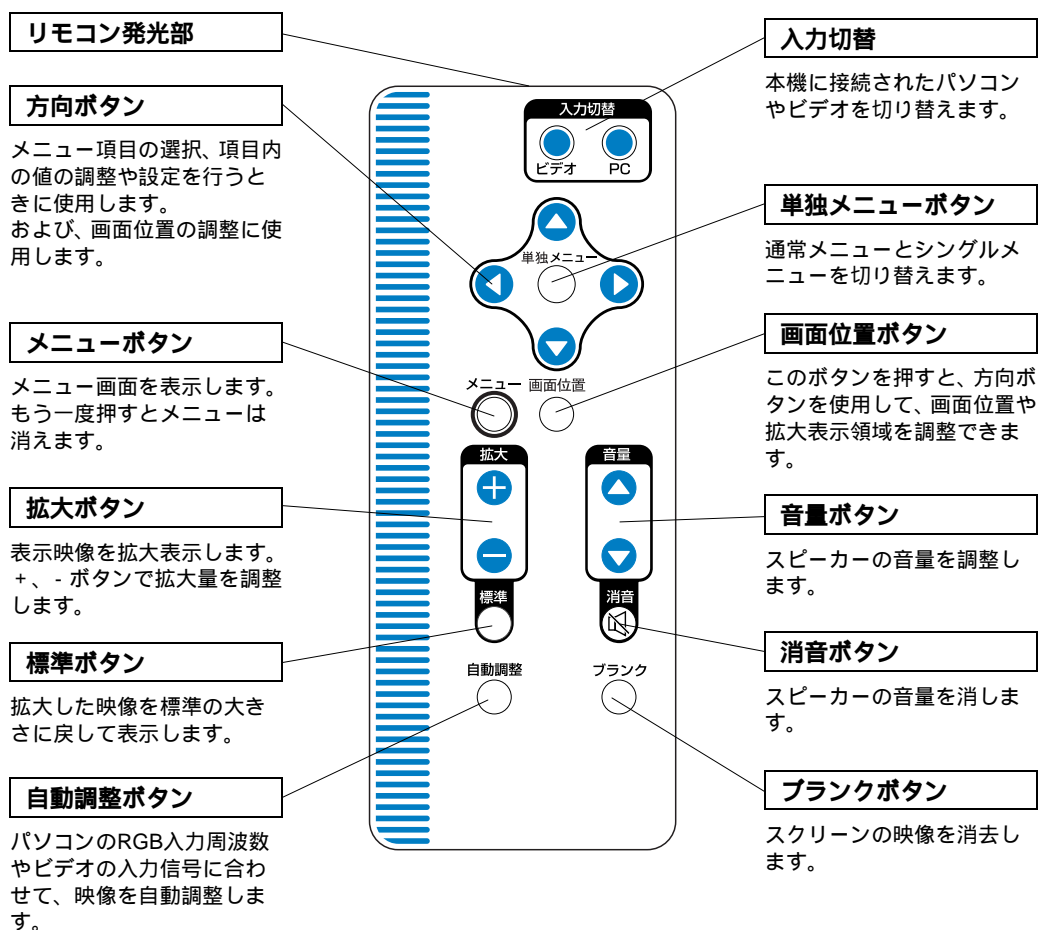
パソコンやビデオなど外部機器の接続方法は、「外部機器の接続方法」（P.23）を参照してください。

リア端子部



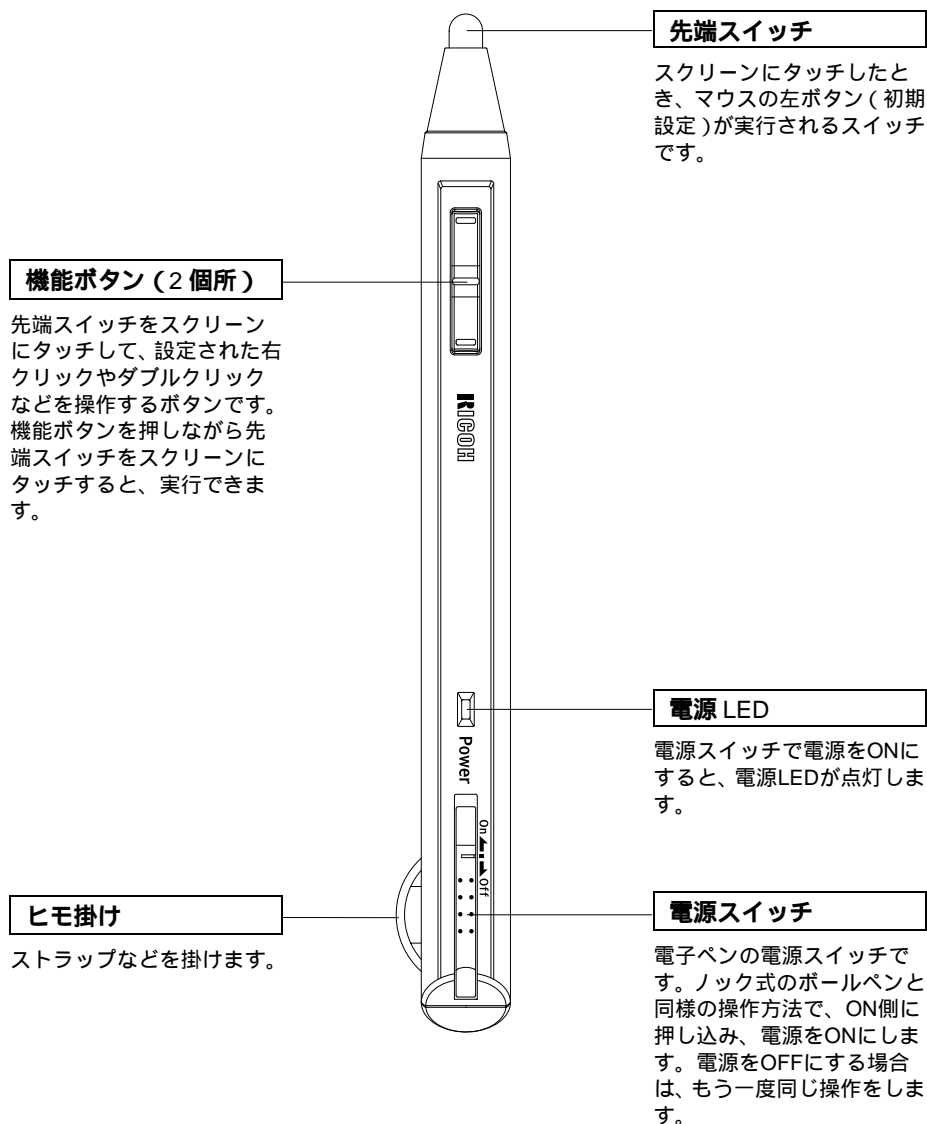
パソコンやビデオなど外部機器の接続方法は、「外部機器の接続方法」(P.23)を参照してください。

ワイヤレスリモコン



ワイヤレスリモコンのキー操作については、「基本操作」の「ワイヤレスリモコンの使い方」(P.33)を参照してください。

電子ペン



電子ペンの操作については、「タッチパネルの基本操作」の「電子ペンの使い方 (P.XX)」を参照してください。




移動と設置

本機のみでの移動と設置

ここでは、本機のみを移動および設置するときの注意、方法を説明しています。本機だけをご購入された方で、設置された本機を別の場所に移動、設置する場合はこちらをご覧ください。

専用台に本機を載せて移動と設置をされる場合は、「専用台付き本機の移動と設置」(P.12)を参照してください。

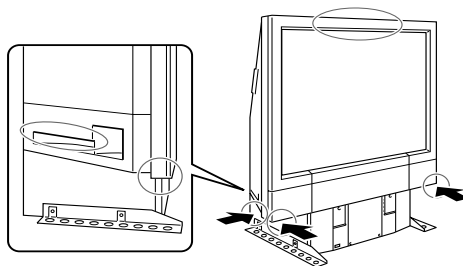
⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">• 本機の質量（重量）は約82kgあります。本機のみを移動するときは、必ず5人以上で作業を行い、所定の位置を持ち、移動してください。倒したり、落したり、また所定の位置以外を持つと指をはさんだりして、けがの原因になります。• 転倒防止金具は外さないでください。倒れたりして、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">• 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">• 連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動

本機の質量（重量）は約82kgあります。

本機を移動するには、必ず5人以上で行ってください。本機の左右の側面に2人ずつ立ち、下図の矢印で示した位置を4人で持ち、本機を持ち上げます。もう1人は、転倒を防止するため本機の正面の上部を支えます。倒してけがの原因とならないよう、注意しながら移動してください。



一人が移動用取っ手を、もう一人が額縁の角を持ちます。それぞれ点線で囲んだ部分です。

設置

移動したら、以下の△注意および「設置場所について」を参照して、本機を設置します。

△ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

重要

- 専用台以外の台や机などに、本機を載せて使用しないでください。本機の質量（重量）は約 82kg あります。載せると台や机がぐらついたり、傾いたりします。

設置場所について

設置場所は、スクリーンの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならない場所を選んでください。次の項目をよくお読みになってから、作業してください。

- 湿気やほこりの多い所に置かないでください。
- 油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。
- 直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。
- 本体上部からの強い光（特に白熱灯）や窓からの直射光が入る場所には置かないでください。
- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと故障の原因になります。本機背面に 20cm 以上の隙間を空けてください。

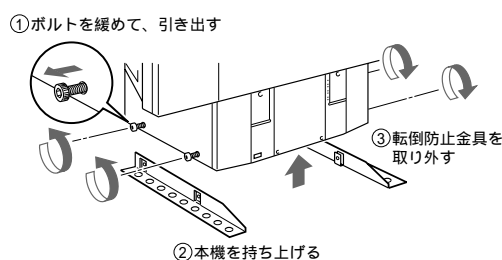
転倒防止金具の取り外しと取り付け

移動または設置するとき、転倒防止金具を取り外す必要がある場合は、次ページの「取り外しかた」を参照して、転倒防止金具を取り外します。設置場所が決まったら、取り外した転倒防止金具を取り外したときの逆の手順で取り付けます。4ヶ所の六角穴付きボルト（M5）で本機と転倒防止金具を確実に締め付けてください。

なお、転倒防止金具の取り外しおよび取り付けには、本機に同梱されている「六角レンチ」を使用します。作業は必ず3人以上で行い、倒してけがの原因とならないよう、注意してください。

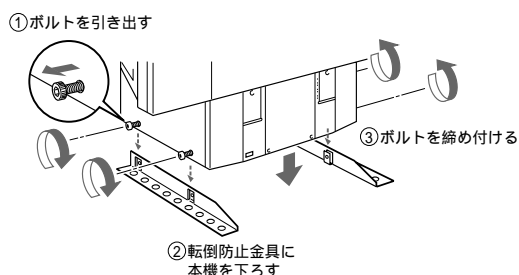
取り外しかた

1. 六角穴付きボルト（M5）を六角レンチで緩めて、ボルトを引き出します。
2. 本機の片方どちらかを2人で持ち上げて、もう1人が転倒防止金具を取り外します。
3. 同様にして、もう片方の転倒防止金具を取り外します。



取り付けかた





1. 六角穴付きボルト（M5）を引き出して、本機の片方どちらかを2人で持ち上げます。
2. もう1人が、本機下部のネジ穴部に合う位置に、図のように転倒防止金具を本機の下に置きます。このとき、転倒防止金具の左右を間違えないようにします。
3. 本機を転倒防止金具に下ろします。
4. 六角穴付きボルト（M5）を六角レンチで締め付けます。
5. 同様にして、もう片方に転倒防止金具を取り付けます。



専用台付き本機の移動と設置

ここでは、専用台付き本機を移動および設置するときの注意、方法を説明しています。専用台付き本機をご購入された方で、設置された専用台付き本機を移動、設置する場合はこちらをご覧ください。

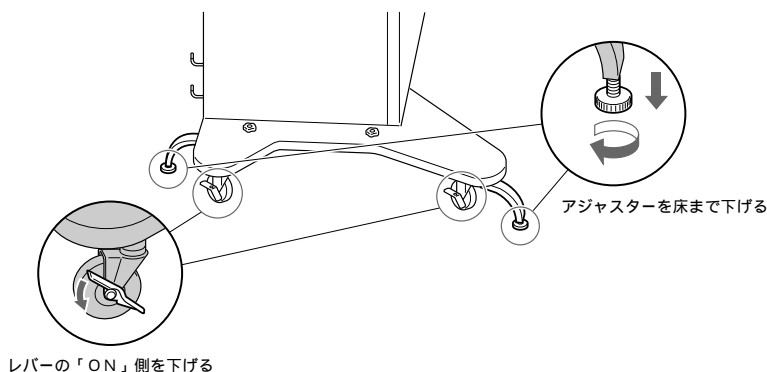
⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">• 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">• 機械を移動するとき、必ず2人以上で作業を行い、転倒防止スタンドのアジャスターの固定とキャスターのロックを外してから、必ず左右2箇所の移動用取っ手を持ち、移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。• 機械の移動中は、転倒防止スタンドにより固定されていません。傾斜している床などを移動する場合は、十分に注意してください。• 機械を移動したら、キャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">• 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">• 連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の転倒防止と固定について

専用台付き本機は、導入時に専用台に取り付けられた転倒防止スタンドのアジャスターとキャスターのロックで、本機が倒れないよう固定されています。別の場所に移動、設置して本機を使用する場合は、専用台のキャスターのロックを外し、転倒防止スタンドのアジャスターを元の位置に戻すよう、一番上まで上げます。

本機を移動、設置したら、下図のようにして固定します。



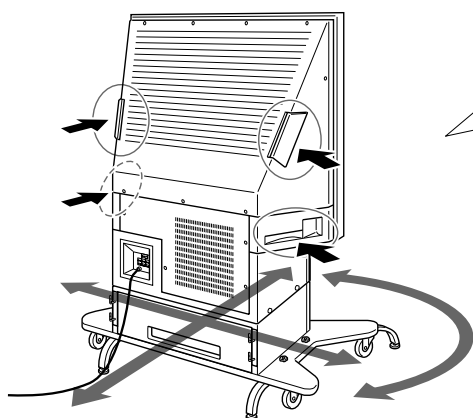
移動

専用台付き本機の質量（重量）は約114kgあります。本機を移動するには、必ず2人以上で行ってください。

転倒防止スタンドの位置を変更しないで移動する

本機を部屋内で移動する場合、傷害物がなく平らな場所を移動する場合は、転倒防止スタンドの位置をそのままにして移動できます。ただし、途中に約20mm以上の段差がある場合は、次ページの「転倒防止スタンドの位置を変更して移動する」を参照して、本機を移動してください。

1. 専用台のキャスターのロックを外し、転倒防止スタンドのアジャスターを元の位置に戻るよう、一番上まで上げます。
2. 下図の矢印（➡）の移動用取っ手に手を掛け、静かに移動します。



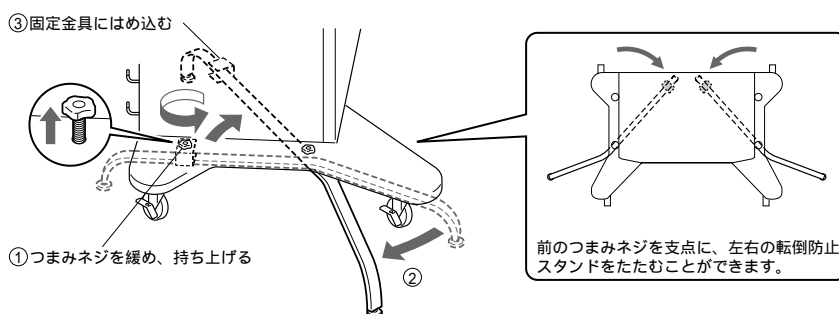
矢印（➡）の移動用取っ手に手を掛け、静かに移動します。画面の枠（額縁）を持たないでください。倒してけがの原因とならないよう、注意しながら移動してください。

3. 移動して設置場所が決まったら、キャスターをロックし、転倒防止用スタンドのアジャスターを床に接地させます。

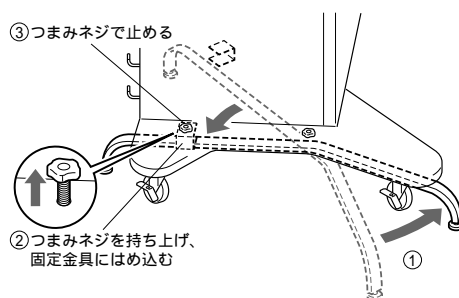
転倒防止スタンドの位置を変更して移動する

本機を移動するとき、その行程に傷害物や段差がある場合、転倒防止スタンドの位置を変更すると、移動しやすくなります。部屋から部屋へ本機を移動するときなど、部屋のドアの壁などに転倒防止スタンドが触れません。

1. 専用台のキャスターのロックを外し、転倒防止スタンドのアジャスターを元の位置に戻すよう、一番上まで上げます。
2. 後のつまみネジを緩めてから持ち上げ、転倒防止スタンドを固定金具から外します。
3. 図のように、前のつまみネジを中心に転倒防止スタンドを回し、専用台の底の後部中央にある固定金具にはめ込みます。



4. 前ページの図を参考にして、本機を移動します。
5. 移動して設置場所が決まったら、転倒防止スタンドを固定していたときの元の位置に戻して、後のつまみネジで取り付けます。

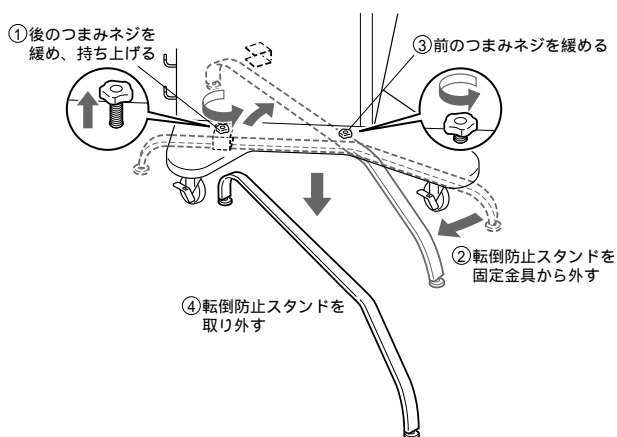


6. 専用台のキャスターをロックし、転倒防止用スタンドのアジャスターを床に接地させます。

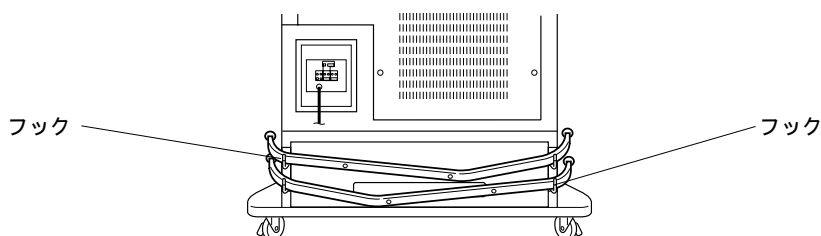
転倒防止スタンドを取り外して移動する

エレベーターを使用したり、長距離を移動したりするときなどは、転倒防止用スタンドを取り外して本機を移動します。

1. 専用台のキャスターのロックを外し、転倒防止スタンドのアジャスターを元の位置に戻るように、一番上まで上げます。
2. 後のつまみネジを緩めてから持ち上げ、転倒防止スタンドを固定金具から外します。
3. 前のつまみネジを緩めて、転倒防止スタンドを取り外します。



4. 両方の転倒防止スタンドを取り外したら、図のように、転倒防止スタンドを専用台背面のフックにかけます。



5. 本機を移動します。
6. 移動して設置場所が決まったら、転倒防止スタンドを取り付けます。
転倒防止スタンドの取り付けかたは、「転倒防止スタンドの取り付け」(P.28)を参照してください。
7. 専用台のキャスターをロックし、転倒防止用スタンドのアジャスターを床に接地させます。

設置

移動したら、以下の△注意および「設置場所について」を参照して、本機を設置します。

⚠ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



設置場所について

設置場所は、スクリーンの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならない場所を選んでください。次の項目をよくお読みになってから、作業してください。

- 湿気やほこりの多い所に置かないでください。
- 油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。
- 直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。
- 本体上部からの強い光（特に白熱灯）や窓からの直射光が入る場所には置かないでください。
- 設置場所が決まったら、キャスターをロックして、転倒防止用スタンドのアジャスターを床に固定してください。
- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと故障の原因になります。本機背面に 20cm 以上の隙間を空けてください。

専用台からの本機の取り外し、移動、設置

⚠ 注意

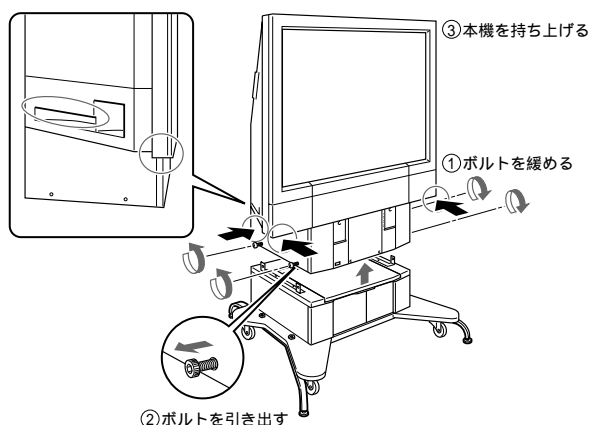
	<ul style="list-style-type: none">• 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">• 専用台から本機を取り外すとき、また本機を専用台に載せるときは、必ず5人以上で作業してください。倒したり、落としたりして、けがの原因となります。• 転倒防止スタンドを取り付けた専用台に本機を載せて設置場所が確定したら、必ずキャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

本機の取り外し

本機の質量（重量）は約82kgあります。取り外し、移動の際には、必ず5人以上で行います。倒したり落としたりしてけがの原因とならないよう、注意しながら作業してください。

1. 専用台のキャスターがロックされていて、本機が動かないことを確認します。
2. 付属の六角レンチで、本機と専用台を締結している4ヶ所の六角穴付きボルト（M5）を緩め、各ボルトを引き出します。
3. 本機の左右の側面を2人ずつで持ち、もう1人が本体正面の上部を支えながら、専用台から本機を取り外します。

本機の持ち上げ方は、「本機のみ移動と設置」（P.9）を参照してください。



4. 本機を下ろします。

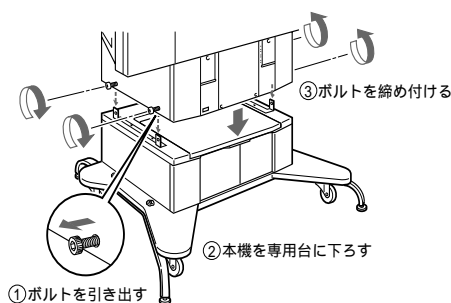
移動

本機を移動する場合は、「本機のための移動と設置」(P.9)を参照してください。
専用台は、キャスターのロックを外して移動します。

本機の専用台への載せかたと設置

設置場所が決まったら、本機を専用台に載せます。本機を取り外したときと同様に、作業は必ず5人以上で行います。倒したり落したりしてけがの原因とならないよう、注意しながら作業してください。

1. 専用台のキャスターをロックして、動かないようにします。
2. 本機の六角穴付きボルト(M5)を引き出し、専用台の連結金具が合うように、5人で専用台に本機を載せます。
3. 付属の六角レンチで、4ヶ所の六角穴付きボルトをしっかりと締め付けます。



4. 接地場所が決まったら、専用台のキャスターをロックし、転倒防止用スタンドのアジャスターを床に接地させます。

ワイヤレスリモコンの取り扱い

初めての使用




ワイヤレスリモコンには、あらかじめ3VマイクロリチウムCR2025型の電池が入っています。電池フォルダに差し込まれている絶縁フィルムを引き抜くと、ワイヤレスリモコンを使用できます。

ワイヤレスリモコン使用上のご注意

- ワイヤレスリモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ワイヤレスリモコンに水をかけたり、濡れたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- ワイヤレスリモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったりしたときは、新しい電池に交換してください。
- 本機のスクリーンに直射日光などの強い光があたると、ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。本機を使用する際は、光がスクリーンに直接当たらないように、ブラインドで遮光したり、本機の向きを変えたりしてください。
- ワイヤレスリモコンと電子ペンは同じ周波数が使用されています。電子ペンと同時にワイヤレスリモコンを操作すると、電子ペンが操作できなくなります。ワイヤレスリモコンで操作する場合は、電子ペンとの併用はしないでください。

電池の交換

⚠ 警告

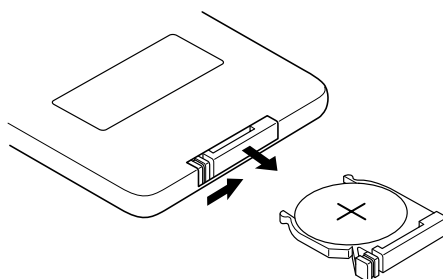
	• 電池は、リコー指定のものを使用してください。指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。
	• 電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、+と-の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。
	• 破裂の恐れがありますので、充電、ショート、火中に投入、加熱、分解しないでください。

⚠ 注意

電池を正しく交換してください。爆発を起こすおそれがあります。機器製造者が指定した同一または同等タイプ（3V マイクロリチウム CR2025 型）以外の電池とは交換しないでください。使用済の電池は、電池製造者の取扱指示に従って処分してください。

電池は、3V マイクロリチウム CR2025 型を使用してください。下図を参考に、電池を交換します。電池の +/- の向きを確認して、表示のとおり正しく入れてください。

5. ワイヤレスリモコンを裏側にして、ツメを矢印の方向に押しながら、電池フォルダーを引き出します。
6. 古い電池を取り除き、+側を上にして新しい電池を取り付けます。
7. カチッと音がするまで、電池フォルダーを押し込みます。



電子ペンの取り扱い

初めての使用

電子ペンには、あらかじめ5V LR03型単4のアルカリ乾電池が2本入っています。




要確認 乾電池は出荷時挿入済み？、それとも納入時にユーザーが挿入する？

電子ペン使用上のご注意

- 電子ペンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 電子ペンに水をかけたり、濡れたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 電子ペンの乾電池の寿命は常時使用で約1ヶ月です。電子ペンが動作しなくなったり、動作が不安定になったりしたときは、新しい電池に交換してください。
- 電子ペンは先端スイッチが押されたとき、信号を発信します。本機はこの信号を本体背面の中央部付近の受信ユニットで受信しています。スクリーン上部で電子ペンの先端スイッチを上向きにして操作していると、電子ペンの信号が受信しにくくなりクリック操作ができなくなることがあります。電子ペンを使用する際は、できるだけスクリーンに対して垂直に先端スイッチを押し当ててください。
- 電子ペンとワイヤレスリモコンは同じ周波数が使用されています。電子ペンで操作中に、ワイヤレスリモコンを操作すると、電子ペンが操作できなくなります。電子ペンの操作中はワイヤレスリモコンを使用しない、またはいったん電子ペンの操作を中断して、ワイヤレスリモコンを使用してください。

電池の交換

警告

	<ul style="list-style-type: none">電池は、リコー指定のものを使用してください。指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">電池を電子ペン内に挿入する場合は、+と-の向きに注意し、電子ペンの表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">破裂の恐れがありますので、充電、ショート、火中に投入、加熱、分解しないでください。新しい電池と、使用した電池や異種の電池を混用しないでください。

注意

電池を正しく交換してください。爆発を起こすおそれがあります。機器製造者が指定した同一または同等タイプ（5V LR03 型単 4）以外の乾電池とは交換しないでください。使用済の電池は、電池製造者の取扱指示に従って処分してください。

電池は、5V LR03型単4のアルカリ乾電池を使用してください。下図を参考に乾電池を交換します。乾電池の+/-の向きを確認して、表示のとおり正しく入れてください。

1. 電子ペンを裏側にして、▷部分を押しながら、電池蓋を電子ペンの下部方向へスライドします。
2. 古い乾電池を取り除き、+/-側を確認して、新しい乾電池を挿入します。
3. 操作1と反対の操作で、電池蓋を取り付けます。

イラスト新規：電池交換

外部機器の接続方法

本機には、フロント端子部とリア端子部にパソコンやビデオの外部機器を接続できます。専用台付きの本機で、パソコンやビデオを専用台の収納部に格納してご使用になる場合は、リア端子部に接続してください。

接続する際、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

また、本機のタッチパネル機能をご利用になるためには、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを接続します。接続については、次ページ以降の「フロント端子部への接続」、「リア端子部への接続」をご覧ください。

なお、リコータッチパネルドライバーのインストールについては、「タッチパネル操作」の「リコータッチパネルドライバーのインストール」(P.53)をご覧ください。

重要

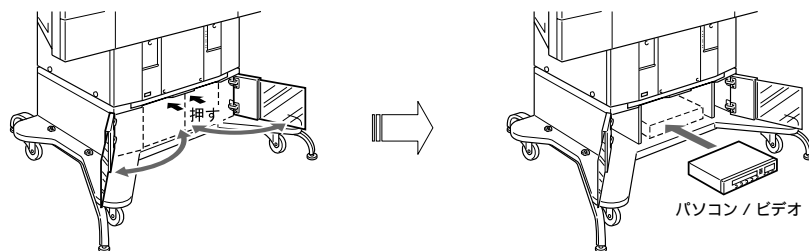
- 外部機器を接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。

補足

- 本機のビデオ入力の映像端子とS映像端子は、自動的に信号の有無を判別します。ただし、両方の端子に接続した場合、S映像端子の信号が優先されます。
- ビデオ機器を映像端子でご利用になる場合、S映像端子でご利用になることをお勧めします。

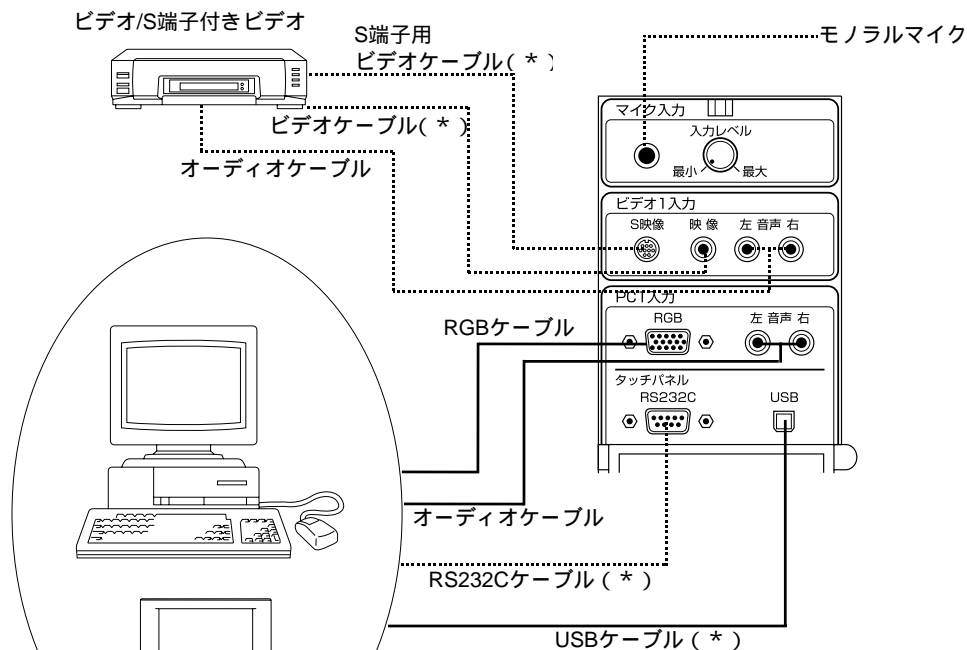
専用台付き本機への外部機器の収納

パソコンやビデオなど外部機器を1台格納できます。



フロント端子部への接続

(*)機器の仕様に応じて、どちらかを接続します。



本機のタッチパネル機能を使用するとき、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを接続する場合は、「PC1入力」の「タッチパネル」部のRS232C端子またはUSB端子どちらかに、RS232Cケーブル(ストレートケーブル)またはUSBケーブルを接続します。

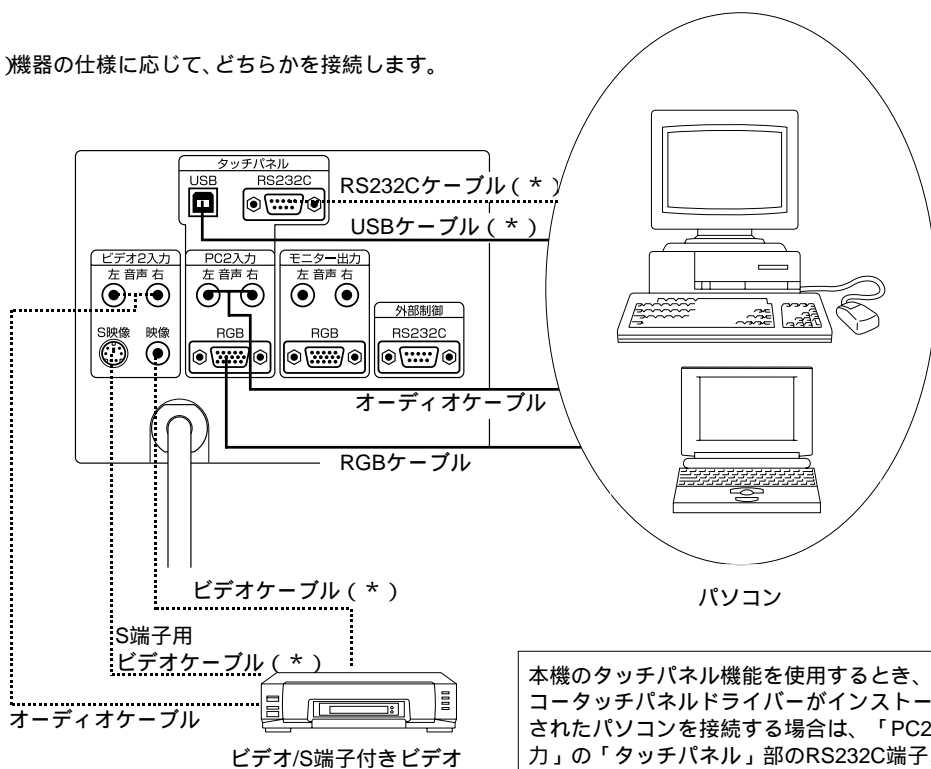
[マイクの接続と音量の調節]

フロント端子部のマイク端子にマイクを接続します。使用できるマイクはモノラルのみです。端子は、6.35 マイクジャックに対応しています。単一指向性のマイクロフォンを使用すると、ハウリングが発生しにくくなります。

マイクの音量は、入力レベルのつまみで調整します。音量を消すには、つまみを最小まで回します。

リア端子部への接続

(*) 機器の仕様に応じて、どちらかを接続します。

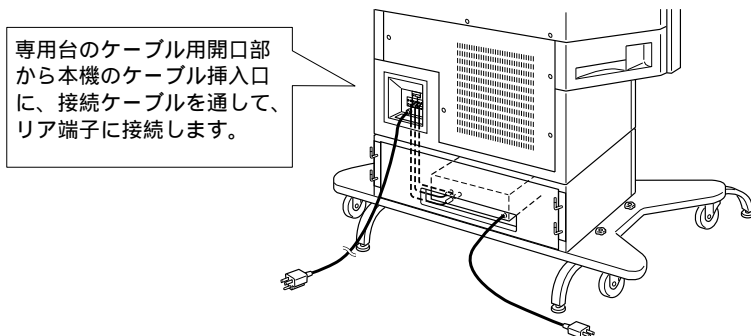


本機のタッチパネル機能を使用するとき、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを接続する場合は、「PC2入力」の「タッチパネル」部のRS232C端子またはUSB端子どちらかに、RS232Cケーブル（ストレートケーブル）またはUSBケーブルを接続します。

[接続ケーブルの配線方法]

専用台付きの本機で、パソコンやビデオを専用台の収納部に格納してご使用になる場合は、下図のように接続ケーブルを配線してリア端子部に接続します。




外部機器の格納と配線は、専用台の後面パネルを取り外すと、容易に作業ができます。



本機主電源の接続

本機主電源の電源コードは、背面のリア端子部から出ています。電源プラグをAC100V電源コンセントに差し込みます。電波障害防止のために電源コードは、接地極付コンセントに接続してください。

警告

	<ul style="list-style-type: none">アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
	<ul style="list-style-type: none">表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。延長コードの使用は避けてください。電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
	<p>《電源プラグに2極変換アダプタを使用したとき》</p> <ul style="list-style-type: none">アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

専用台の準備と使い方（オプション）

本機を導入された後にオプションの専用台を購入された場合は、本機を専用台に載せる前に、専用台に転倒防止スタンドを取り付けます。転倒防止スタンドは、専用台に同梱されています。

⚠ 注意



• 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。

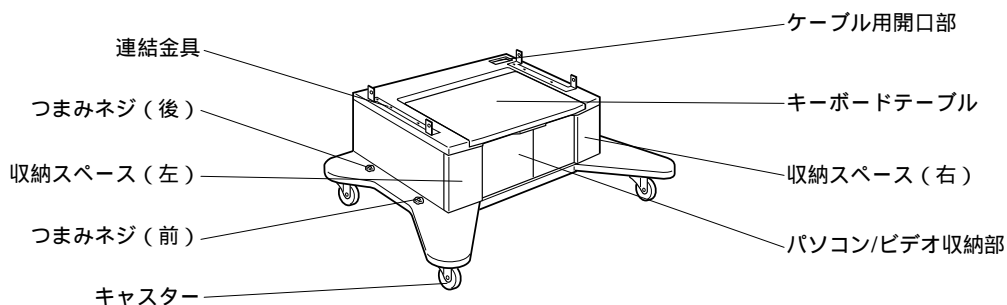


• 本機を専用台に載せるときは、必ず5人以上で作業してください。倒したり、落としたりして、けがの原因となります。

• 転倒防止スタンドを取り付けた専用台に本機を載せて設置場所が確定したら、必ずキャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

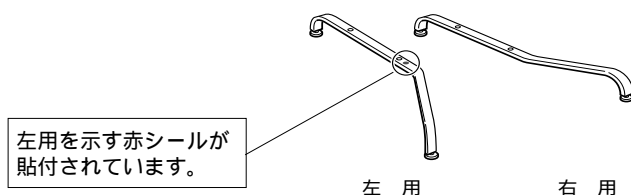
梱包内容と各部の名称

専用台



つまみネジは抜き取れません。

転倒防止スタンド



転倒防止スタンドの取り付け

⚠ 注意

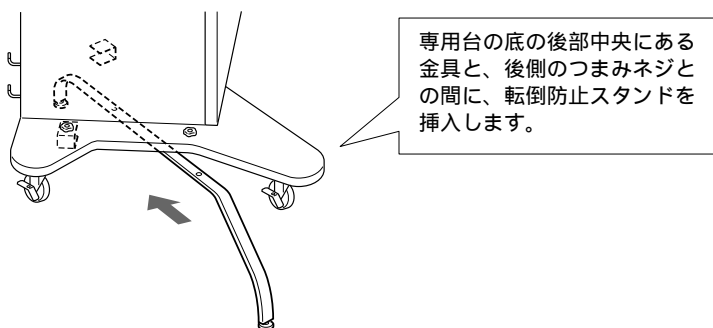


- 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。

転倒防止スタンドは、専用台の左右の脚部に取り付けます。赤いシールが貼られた転倒防止スタンド（左）を左側に、シールが貼られていない転倒防止スタンドを右側に取り付けます。

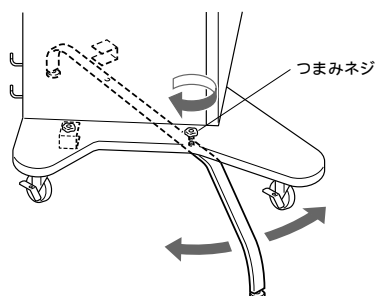
以下の手順では、最初に転倒防止スタンドを専用台の左側に取り付け、次に専用台の右側に取り付ける方法を説明します。

1. 図のように、転倒防止スタンド（左）を専用台の正面向って左側の底面と床の間に、斜め左に挿入します。このとき、挿入する転倒防止スタンドの端と、挿入する方向に注意してください。

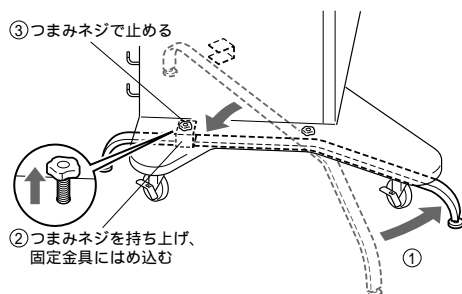


2. 転倒防止スタンドのくの字に曲がった所にあるネジ穴に、前の脚側にあるつまみネジを通して、止めます。

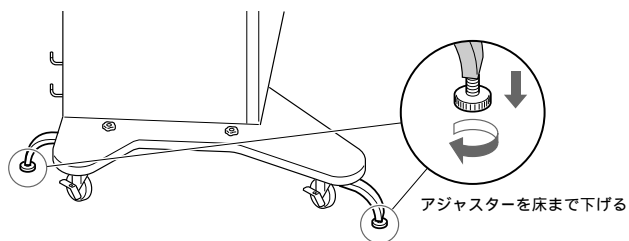
手前に出ている転倒防止スタンドを持って、左右に動くことを確認します。



3. 転倒防止スタンドを右方向に回し、挿入した部分が後の脚側にあるつまみネジの裏側にある固定金具にはまるようにします。
4. つまみネジを持ち上げ、転倒防止スタンドを金具にはめ込み、つまみネジで止めます。転倒防止スタンドには、このつまみネジの位置と合うように、ネジ穴があります。
転倒防止スタンドが確実にネジで固定されているかを確認します。







5. 同様にして転倒防止スタンド（右）を、手順1.~4.に従って取り付け、固定します。
6. 確認のため、左右の転倒防止スタンドのアジャスターを回して、床まで下げて専用台を固定します。
専用台が動かないことを確認できたら、アジャスターを元の位置に戻します。



本機を専用台に載せる

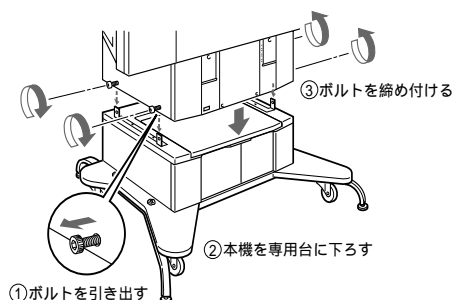
⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">• 転倒防止スタンドは必ず取り付けてください。倒れて、けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">• 本機の質量（重量）は約82kgあります。本機のみを移動するときは、必ず5人以上で作業を行い、所定の位置を持ち、移動してください。倒したり、落したり、また所定の位置以外を持つと指をはさんだりして、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">• 本機を専用台に載せるときは、必ず5人以上で作業してください。倒したり、落としたりして、けがの原因となります。• 転倒防止スタンドを取り付けた専用台に本機を載せて設置場所が確定したら、必ずキャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">• 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

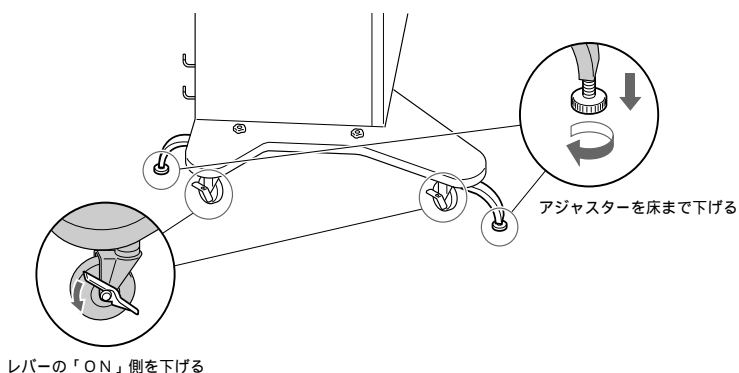
専用台に転倒防止スタンドを取り付けたら、本機を専用台に載せます。

本機の質量（重量）は約82kgあります。本機を専用台に載せるときは、必ず5人以上で行い、倒したり落したりしてけがの原因とならないよう、注意しながら作業してください。

1. 専用台のキャスターをロックして、動かないようにします。
2. 本機の六角穴付きボルト（M5）を引き出し、専用台の連結金具が合うように、5人で専用台に本機を載せます。
3. 付属の六角レンチで、4ヶ所の六角穴付きボルトをしっかりと締め付けます。



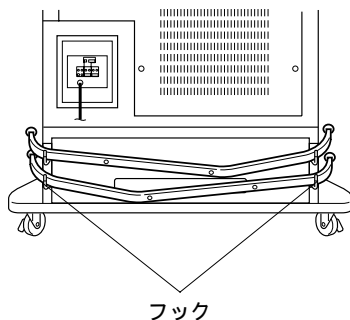
4. 設置場所が確定したら、必ずキャスターをロックして、転倒防止スタンドのアジャスターで床に接地させてください。



転倒防止スタンドの取り外し

本機を専用台に載せて使用する場合は、転倒防止スタンドを取り外して使用することはできませんが、エレベーターを使用したり、長距離を移動したりするときなどは、転倒防止用スタンドを取り外して本機を移設します。

1. 専用台のキャスターのロックを外し、転倒防止スタンドのアジャスターを元の位置に戻すよう、一番上まで上げます。
2. 転倒防止スタンドを取り付けたときの手順とは逆の方法で、どちらか片方から転倒防止スタンドを取り外します。
3. 両方の転倒防止スタンドを取り外したら、図のように、転倒防止スタンドを専用台背面のフックにかけます。



キーボードテーブルの使い方

外部機器を収納する扉の真上部に、本機に接続したパソコンのキーボードやマウスを載せるキーボードテーブルがあります。キーボードテーブルを使用するには、図のようにしてキーボードテーブルを引き出します。

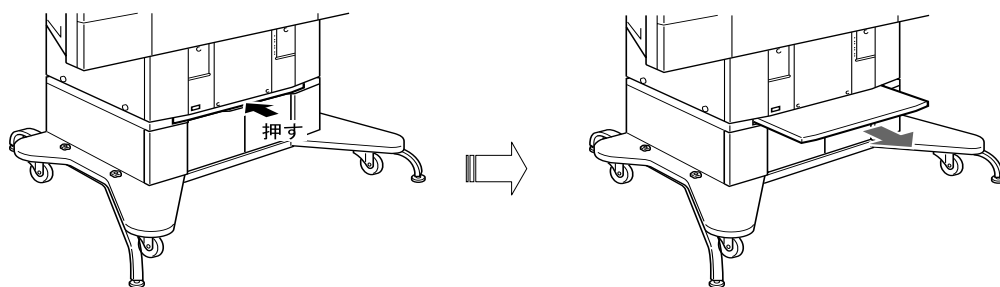
⚠ 注意



- キーボードテーブルには5kg以上の機器や物を載せないでください。また、手や足なども載せないでください。キーボードテーブルの落下により、けがの原因になります。

キーボードテーブルの引き出し

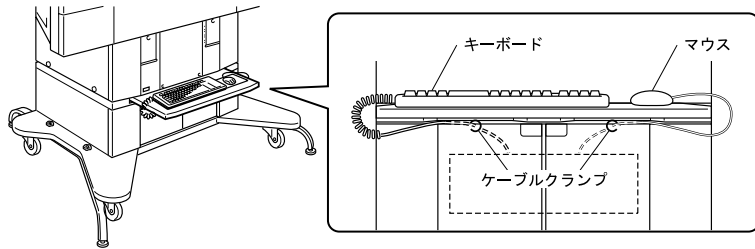
キーボードテーブルの中央を押すとロックが外れて、キーボードテーブルが少し飛び出します。そのままキーボードテーブルを引き出します。



キーボードテーブルを収納するには、中央部を元の位置までカチッと音がするまで押し込みます。キーボードテーブルがロックされます。

キーボードやマウスのケーブルの配線

キーボードやマウスのケーブルは、専用台の扉とキーボードテーブルの間から、ケーブルランプに通します。





操作方法



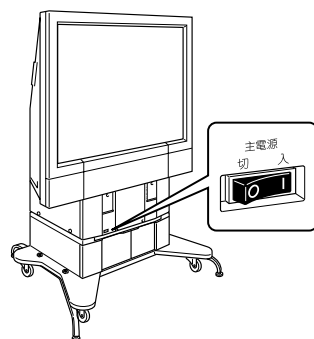
電源のオン / オフ

電源オン

本機には、本機に電源を供給する「主電源スイッチ」と、その電源のオンとスタンバイを切り替える「ON/スタンバイボタン（電源）」があり、電源のオン / オフを操作できます。本機を最初に使用するときは、主電源スイッチを入れます。このとき、本機の電源はオンになり、動作可能な状態になります。その後は、[ON/スタンバイ]ボタンで本機の状態のオン / スタンバイを操作します。

例えば、朝の始業時に主電源スイッチを入れておいて、日中の作業では本機を使用するときに [ON/スタンバイ] ボタンで電源をオン / オフにします。そして、終業時に主電源スイッチを切るといように使用します。

1. 電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
2. 本機の主電源スイッチをオンにします。
ON/スタンバイのインジケーターが緑色に点滅します。
3. 本機のウォームアップが終了すると、緑色の点灯になります。
4. 本機に接続されている機器の電源を入れます。



補 足

- 主電源スイッチを入れた後、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを起動すると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。

誤って、触ってしまった場合は、「サービスコール」のエラーが表示されることがあります。この場合、コントロールパネルの [PC 入力] ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用する系統に戻します。再度初期化中を示すメッセージが表示されるので、このメッセージが消えるまでタッチパネルに触らず待っていてください。

電源のオン/スタンバイ

主電源がオンの状態になっているとき、コントロールパネルの [ON/スタンバイ] ボタンで本機の電源のオン/スタンバイを操作できます。スタンバイ状態にするには、[ON/スタンバイ] ボタンを1秒間押し続けます。インジケータが橙色の点滅に変わり、クールダウン中になります。約2分後にスタンバイ状態になります。

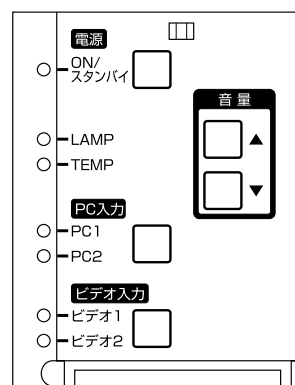
ON/スタンバイのインジケータは、次のように表示が切り替わります。

▶スタンバイ状態のとき、[ON/スタンバイ] ボタンを押す

スタンバイ	橙色の灯点
ウォームアップ中	☀ 緑色の点滅
電源オン	緑色の点灯

▶オン状態のとき、[ON/スタンバイ] ボタンを押す

電源オン	緑色の点灯
クールダウン中	☀ 橙色の点滅
スタンバイ	橙色の点灯



コントロールパネル

補 足

- [ON/スタンバイ] ボタンを押した直後のウォームアップ中、およびクールダウン中は、[ON/スタンバイ] ボタンの操作はできません。それぞれ電源オンおよびスタンバイの状態になってから、操作をしてください。
- 電源を入れた後、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを起動すると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。
誤って、触ってしまった場合は、「サービスコール」のエラーが表示されます。この場合、コントロールパネルの [PC 入力] ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用する系統に戻します。再度初期化中を示すメッセージが表示されるので、このメッセージが消えるまでタッチパネルに触らず待っててください。
- スタンバイ状態に切り替えても、電源は本機のコントローラに供給されています。長時間使用しないときは、次の「 電源オフ 」の操作で主電源スイッチを必ずオフにしてください。

- スタンバイ状態のとき、電源コードを抜いて、その後再度電源コードをコンセントに接続した場合は、電源オン状態になります。

電源オフ

本機で作業が終了したら、本機がスタンバイ状態になっていることを確認してから、主電源スイッチを切ります。

1. 本機がオン状態のときは、[ON/スタンバイ] ボタンを1秒間押し続けます。ON/スタンバイのインジケータが橙色に点滅しはじめ、クールダウン状態となります。
2. 約2分後ファンが止まり、ON/スタンバイのインジケータは橙色が点灯し、スタンバイ状態となります。
3. 主電源スイッチをオフにします。ON/スタンバイのインジケータが消灯します。

重要

- [ON/スタンバイ] ボタンで電源オンにした直後に、主電源スイッチをオフにしないでください。必ず、上記の電源オフの手順に従ってください。光源ランプの寿命を著しく縮めることとなります。

補足

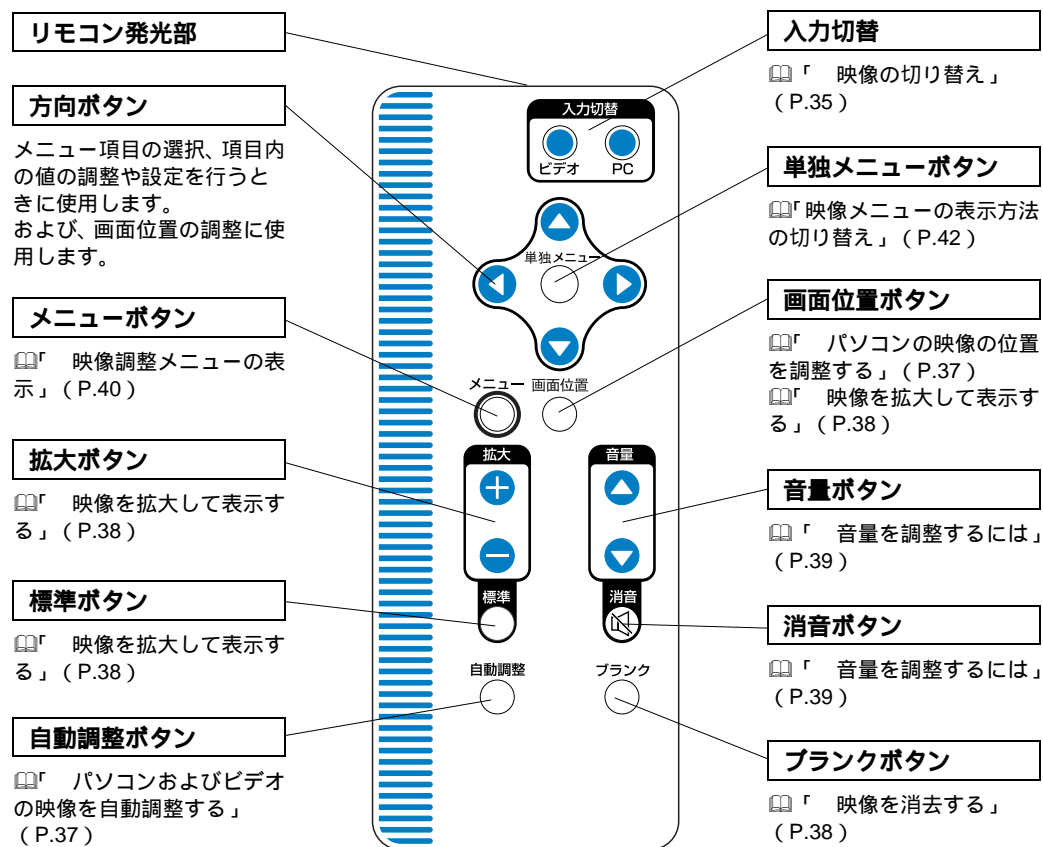
- 主電源スイッチをオフにした直後に電源を入れた場合、映像がスクリーンに表示されるまで2分間ほどかかる場合があります。

基本操作

ここでは、ワイヤレスリモコンまたはコントロールパネルを使用して、スクリーンの映像の調整、音量調整、入力機器切り替えなどの基本操作について説明します。

ワイヤレスリモコンの使い方

ワイヤレスリモコンは、リモコン発光部をスクリーンに向けて操作します。スクリーンの映像の調整、音量調整、入力機器切り替えなど基本操作は、下図の各ボタンを押して、簡単に操作できます。各操作については、各ボタンに記したページを参照してください。



重要

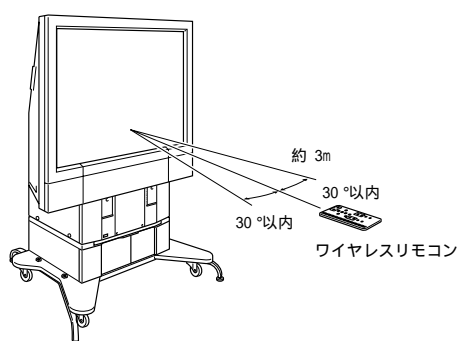
- ワイヤレスリモコンと電子ペンは同じ周波数が使用されています。電子ペンと同時にワイヤレスリモコンを操作すると、電子ペンが操作できなくなります。ワイヤレスリモコンで操作する場合は、電子ペンとの併用はしないでください。

ワイヤレスリモコンの使用範囲

ワイヤレスリモコンは、リモコン発光部をスクリーンに向けて操作します。ワイヤレスリモコンの信号は、スクリーン内部のリモコン受光部で受信するためです。また、確実に信号を受信させるために、本機のスクリーンの正面から約3メートル、左30度、右30度の範囲内でご使用ください。

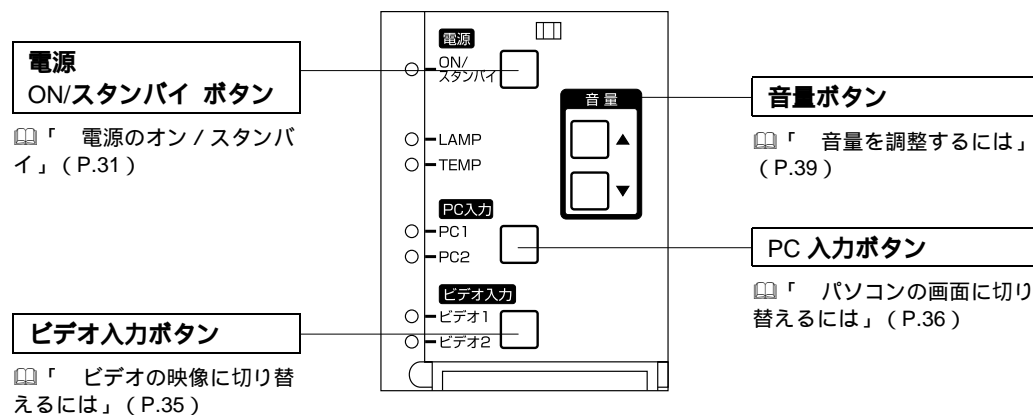
重要

- ワイヤレスリモコンで操作する場合は、リモコン発光部をスクリーンに向けてください。



コントロールパネルの使い方

コントロールパネルでは、電源のオン/スタンバイ、音量調整、パソコンおよびビデオの切替の各操作ができます。各操作については、各ボタンに記したページを参照してください。



映像の切り替え

ワイヤレスリモコン

コントロールパネル

本機にパソコンやビデオが接続されている場合、各機器の映像を切り替えることができます。接続されていない系統や信号がない場合は、画面に信号が入力されていないメッセージが青色の背景で表示されます。

コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンで操作できます。

ビデオの映像に切り替えるには

1. コントロールパネルは [ビデオ入力] ボタン、ワイヤレスリモコンは [ビデオ] ボタンを押します。
スクリーンには「VIDEO」が表示され、ビデオの映像に切り替わります。コントロールパネルでは選択した系統のインジケータが緑色に点灯しています。
2. ビデオの映像が表示されない場合は、選択している系統にビデオが接続されていません。もう一度、[ビデオ入力] ボタンまたは [ビデオ] ボタンを押して、接続された系統に切り替えます。
3. ビデオが2台接続されている場合は、ボタンを押して切り替えます。
コントロールパネルの「ビデオ入力」インジケータの点灯で、選択しているビデオの系統を確認することができます。
フロント端子部に接続されたビデオを選択：「ビデオ1」インジケータが点灯
リア端子部に接続されたビデオを選択：「ビデオ2」インジケータが点灯

補 足

- リコータッチパネルドライバーをインストールしたパソコンが接続されていて、タッチパネル機能が稼動しているとき、ビデオ系統を使用した後、パソコン系統に切り替えると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というメッセージが表示されます。

このメッセージが表示されている間、本機の検出ユニットが動作確認と設定を行います。正常な場合、しばらくしてメッセージが消えます。このとき、メッセージが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。

誤って、触ってしまった場合は、「サービスコール」のエラーが表示されます。この場合、コントロールパネルの [PC 入力] ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用する系統に戻します。再度初期化中を示すメッセー

ジが表示されるので、このメッセージが消えるまでタッチパネルに触らず待っていてください。

パソコンの画面に切り替えるには

1. コントロールパネルは [PC入力] ボタン、ワイヤレスリモコンは [PC] ボタンを押します。
スクリーンには「RGB」が表示され、パソコンの映像に切り替わります。コントロールパネルでは選択した系統のインジケーターが緑色に点灯しています。
2. パソコンの映像が表示されない場合は、選択している系統にパソコンが接続されていません。もう一度、[PC入力] ボタンまたは [PC] ボタンを押して、接続された系統に切り替えます。
3. パソコンが2台接続されている場合は、ボタンを押して切り替えます。
コントロールパネルの「PC入力」インジケーターの点灯で、選択しているパソコンの系統を確認することができます。
フロント端子部に接続されたパソコンを選択：「PC1」インジケーターが点灯
リア端子部に接続されたパソコンを選択：「PC2」インジケーターが点灯

補 足

- リコータッチパネルドライバーをインストールしたパソコンが接続されていて、タッチパネルド機能が稼動しているとき、パソコン系統を切り替えると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている間、本機の検出ユニットが動作確認と設定を行います。正常な場合、しばらくしてメッセージが消えます。このとき、メッセージが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。
誤って、触ってしまった場合は、「サービスコール」のエラーが表示されます。この場合、コントロールパネルの [PC 入力] ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用する系統に戻します。再度初期化中を示すメッセージが表示されるので、このメッセージが消えるまでタッチパネルに触らず待っていてください。

パソコンおよびビデオの映像を自動調整する

ワイヤレスリモコン

接続されたパソコンのRGB入力周波数やビデオの入力信号方式に合わせて、自動調整します。ここでは、ワイヤレスリモコンで自動調整する方法を説明します。ただし、ビデオの映像の自動調整は、映像調整メニューの入力メニューで、[VIDEO]項目の「AUTO」が選択されている場合のみ有効です。

自動調整は、入力メニューでもできます。「入力メニュー」の「オートアジャスト」(P.51)を参照してください。

1. ワイヤレスリモコンの [自動調整] ボタンを押します。
 - パソコン：水平位置、垂直位置、クロック位相、水平サイズが自動調整されます。
 - ビデオ：入力信号にあった信号方式が自動的に選択されます。






補 足

- この機能は、自動調整されるまで約 10 秒かかります。ただし、本機の仕様と合致しない入力信号によっては正しく調整されない場合があります。

パソコンの映像の位置を調整する

ワイヤレスリモコン

接続されたパソコンによっては、映像の位置がずれることがあります。パソコンの画面に切り替えて、ワイヤレスリモコンで位置のずれを調整します。

1. ビデオ映像を表示するモードのときは、コントロールパネルの [PC入力] ボタン、ワイヤレスリモコンの [PC] ボタンを押して、パソコンのモードに切り替えます。
2. パソコンで、ウインドウを全画面表示にするなど、できるだけ明るい画面にします。
3. スクリーンセーバーを設定している場合は、スクリーンセーバーを解除します。
4. ワイヤレスリモコンの [画面位置] ボタンを押します。
アイコン「」が表示されます。
5. 、、 ボタンを押して、映像の位置のずれを調整します。
何も操作をしない状態で約10秒経過すると、アイコン「」が消えます。

[画面位置] ボタンで調整した映像の位置は、本機の電源を切った後でも記憶されています。次回、同じパソコンから映像を表示すると、最後に調整した位置になります。



映像を拡大して表示する

ワイヤレスリモコン


パソコン・ビデオの映像を拡大して表示します。ワイヤレスリモコンで操作します。

重要

- タッチパネル機能がインストールされたパソコンの映像を拡大して表示すると、タッチ位置の座標と表示がずれるため、タッチパネル機能を正常に動作させることができません。タッチパネル機能を使用する場合は、パソコンの映像を標準の大きさにしてください。

1. 「拡大」の+ ボタンを押します（拡大モードになります）。
2. 「拡大」の+/- のボタンを押して、拡大の倍率を調整します。
3. 拡大表示を移動するには、[画面位置] ボタンを押します（位置調整モードになります）。アイコン「」が表示されます。
4. ◀、▶、 ボタンで拡大領域を調整します。
5. 拡大モードを解除するには、「拡大」の[標準] ボタンを押します。

補足

- 約 10 秒間何も操作しないとアイコン「」が消え、位置調整モードは解除されます。
- 拡大モードは次の操作や変化があると解除されます。
「拡大」の[標準] ボタンの操作 / パソコンまたはビデオの切り替え /
入力メニューの「オートアジャスト」と「VIDEO」の操作 /
映像メニューの「アスペクト」の設定 / 入力信号の変化

映像を消去する

ワイヤレスリモコン

表示されている映像を消去します（ブランクモード）。ワイヤレスリモコンの[ブランク] ボタンを押します。

ブランクモードになると映像は消去され、画面全体が表示メニューの「ブランク」で設定されている色で表示されます。もう一度押すとブランクモードは解除されます。




ブランクモードで表示される色を設定するには、「表示メニュー」の「ブランク」(P.52) を参照してください。

音量を調整するには

ワイヤレスリモコン

コントロールパネル

コントロールパネルおよびワイヤレスリモコンで操作できます。

1. コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンで、「音量」の  ボタンを押します。
2. スクリーン上に音量表示が表示されるので、適当な音量に調整します。音量は  ボタンで大きく、  ボタンで小さくできます。
何も操作をしない状態で約10秒経過すると、音量表示が消え、調整した音量で音声が出力されます。
メニューが表示されているときは、音量を調整することはできません。
3. 音声を消すには、ワイヤレスリモコンの [消音] ボタンを押します。音声を出力するには、もう一度 [消音] ボタンを押します。

映像調整メニューの使い方

ここでは、ワイヤレスリモコンを使って、映像を調整する方法を説明します。

映像調整メニューは、パソコンやビデオの接続の有無によって、表示される項目や調整できる項目が異なります。パソコンやビデオの接続の状況に応じて、該当する映像調整メニューを表示させ、適切に映像を調整してください。

基本的な使い方

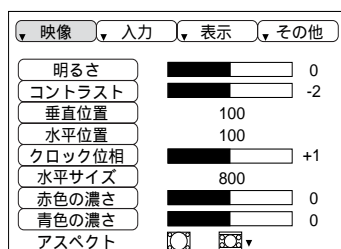
映像調整メニューの表示

パソコン画面の映像を調整する

1. ワイヤレスリモコンの [PC] ボタンを押します。または、コントロールパネルの [PC入力] ボタンを押します。
2. [メニュー] ボタンを押します。

PC用の映像メニューが表示されます。

何も操作しない状態で約10秒経過すると、メニューは消えます。

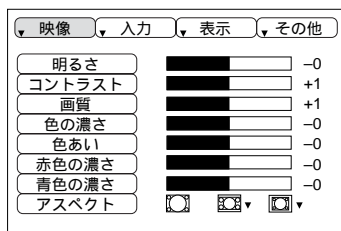


ビデオの画面の映像を調整する

1. ワイヤレスリモコンの [ビデオ] ボタンを押します。または、コントロールパネルの [ビデオ入力] ボタンを押します。
2. [メニュー] ボタンを押します。

ビデオ用の映像メニューが表示されます。

何も操作しない状態で約10秒経過すると、メニューは消えます。

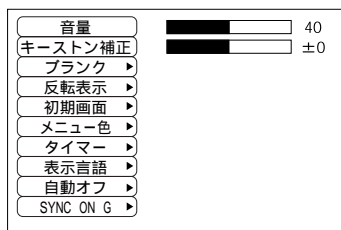


パソコンやビデオが接続されていない状態で調整する

1. [メニュー] ボタンを押します。

外部機器が接続されていないときの無信号時メニューが表示されます。

何も操作しない状態で約10秒経過すると、メニューは消えます。

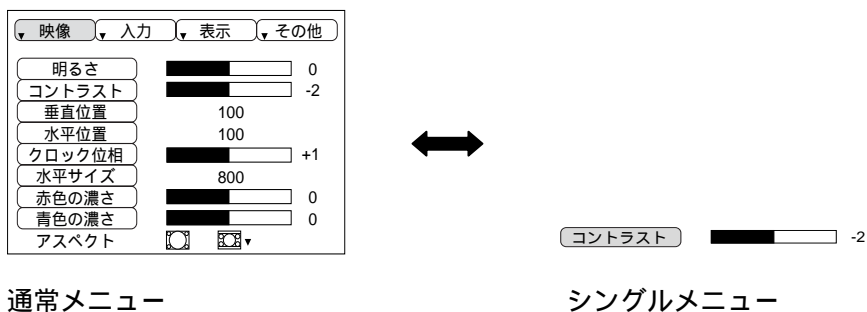


映像メニューの表示方法の切り替え

メニュー全項目を表示する通常メニューと、選択中の項目だけを表示するシングルメニューを切り替えることができます。シングルメニューでは、通常メニューと同様に / ボタンで他の項目を選択できます。

シングルメニューの表示は、映像メニューを表示しているときのみ有効です。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. 表示された映像メニューで、ある項目を選択してから [単独メニュー] ボタンを押します。
選択した項目だけを表示するシングルメニューに切り替わります。
3. [単独メニュー] ボタンを押すと、通常メニューの表示に切り替わります。

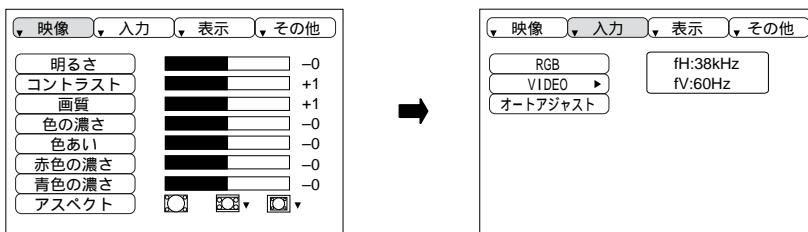


各メニューの切り替え

映像調整メニューは、4種類のメニューで構成されています。各メニューの上部にある4つの項目を選択し、メニューを切り替えます。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. 表示されたメニュー上部の項目のどれかが選択されていることを確認して、◀▶ を押して目的のメニューを選択します。

例：映像メニューから入力メニューに切り替えます。



映像の調整方法

ここでは、本機にパソコンかビデオ、または双方が接続されているとき、映像の明るさを調整する方法を例に説明します。

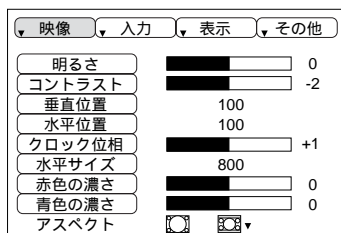
(例) パソコン映像の明るさを調整するとき

1. パソコンまたはビデオどちらか調整する方の系統に切り替えます。
ここでは、パソコン映像を調整するので、ワイヤレスリモコンの [PC] ボタンを押します。
2. ワイヤレスリモコンの [メニュー] ボタンを押します。
[映像] メニューが表示されます。
3. ワイヤレスリモコンの / ボタンを押し、「明るさ」を選択します。
現在選択されているメニュー項目は、背景が黄色で表示されます。
調整しない場合は、ここで [メニュー] ボタンを押して、メニューの表示を消します。
4. / ボタンを押して、右のスライダバーを目安に明るさを調整します。
5. [メニュー] ボタンを押し、[映像] メニューを閉じます。

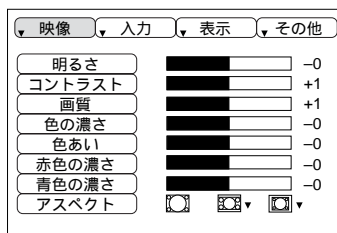
映像メニュー

表示されているメニュー上部の [映像] を選択します。映像メニューは、選択している入力の系統によって次のように表示されます。

/ ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整します。



PC時のメニュー

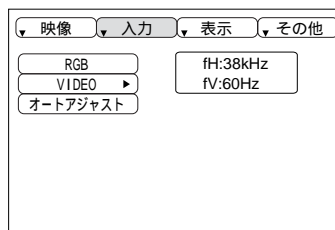


ビデオ時のメニュー

項目	操作	PC	ビデオ
明るさ	調整：暗く◀ ▶明るく		
コントラスト	調整：弱く◀ ▶強く		
垂直位置	調整：下に◀ ▶上に		×
水平位置	調整：左に◀ ▶右に		×
クロック位相	調整：左に◀ ▶右に ちらつきが無くなるように調整します。		×
水平サイズ	調整：小さく◀ ▶大きく 水平サイズを過大に調整すると、映像が正常に表示されなくなることがあります。この場合はRESETボタンを押して、水平サイズを初期化してください。		×
画質	調整：柔らかく◀ ▶くっきり	×	
色の濃さ	調整：淡く◀ ▶濃く	×	
色合い	調整：赤っぽく◀ ▶緑っぽく NTSCまたはNTSC4.43の信号を受信している場合のみ有効です。	×	
赤色の濃さ	調整：淡く◀ ▶濃く		
青色の濃さ	調整：淡く◀ ▶濃く		
アスペクト	映像の縦横比を選択：4:3◀ ▶16:9 表示位置の選択：16:9選択中に ボタンを押します。 中心 下 上 (中心)		×
アスペクト	映像の縦横比を選択：4:3◀ ▶16:9◀ ▶4:3 small 表示位置の選択：16:9/4:3 smallを選択中に ボタンを押します。 中心 下 上 (中心) 4:3 smallは入力信号によっては正常に表示されない場合があります。	×	

入力メニュー

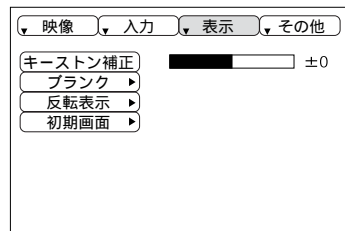
表示されているメニュー上部の [入力] を選択します。 / ボタンで項目を選択し、◀/▶ボタンで調整します。



項目	操作
RGB	<p>パソコンのRGB入力周波数の表示：RGB入力の水平および垂直同期信号周波数を表示します。</p> <p>* パソコン系統を選択しているときのみ有効です。</p>
VIDEO	<p>ビデオ信号方式の選択： / ボタンで信号方式を選択します。</p> <p>入力信号に合わせて、「NTSC」、「PAL」、「SECAM」、「NTSC4.43」、「M-PAL」または「N-PAL」の中から選択します。「AUTO」を選択すると、VIDEO/S-VIDEO入力時の「オートアジャスト」が有効になり、同時に「オートアジャスト」を実行して信号方式を自動選択します。</p> <p>* 映像が乱れる、色が見つからないなど不安定な場合は、信号を選択しなおしてください。</p> <p>* 「オートアジャスト」機能が実行されるには約10秒かかります。</p> <p>* 入力信号によっては正しく機能が実行されない場合がありますが、このとき [自動調整] ボタンを押すと修正されることもあります。</p>
オートアジャスト	<p>パソコンのRGB入力時の自動調整： ボタンで「実行する」を選択します。映像の水平位置、垂直位置、クロック位相、水平サイズが自動調整されます。ウィンドウを最大に表示した状態で行ってください。</p> <p>VIDEO/S-VIDEO入力時の自動調整： ボタンで「実行する」を選択します。入力信号に合った信号方式が自動的に選択されます。「VIDEO」項目で「AUTO」が選択されているときのみ有効です。</p> <p>* この機能が実行されるには約10秒かかります。</p> <p>* 入力信号によっては正しく機能が実行されない場合がありますが、このとき [自動調整] ボタンを押すと修正されることもあります。</p> <p>* この機能は、「パソコンおよびビデオの映像を自動調整する」(P.43)と同じです。</p>

表示メニュー

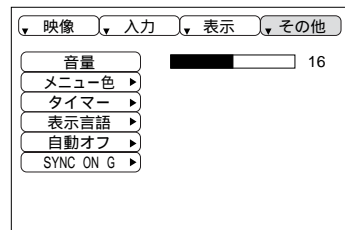
表示されているメニュー上部の [表示] を選択します。 / ボタンで項目を選択し、◀/▶ボタンで調整します。



項目	操作
キーストン補正	設定する必要はありません。「±0」の設定でお使いください。
ブランク	ブランク画面色の選択：◀/▶ボタンで色を選択します。 *ワイヤレスリモコンで[ブランク]ボタンを押すと、画面全体が選択した色になります。
反転表示	設定する必要はありません。「左右反転」の設定でお使いください。
初期画面	設定する必要はありません。「表示しない」の設定でお使いください。

その他メニュー

表示されているメニュー上部の [その他] を選択します。 / ボタンで項目を選択し、◀/▶ボタンで調整します。

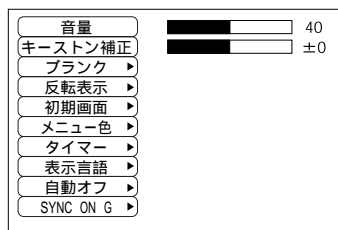


項目	操作
音量	音量の調整：小さく◀ ▶大きく
メニュー色	メニュー背景色の選択：◀/▶ボタンを押して色を選択します。
タイマー	設定する必要はありません。そのままの設定でお使いください。
表示言語	メニュー表示言語の選択： / ボタンで言語を選択します。選択した言語でメニューが表示されます。「日本語」の設定でお使いください。
自動オフ	設定する必要はありません。「停止」(0分)の設定でお使いください。
SYNC ON G	設定する必要はありません。通常「無効」の設定でお使いください。

無信号時のメニュー

パソコンやビデオなど外部機器が接続されていない無信号状態でも、表示メニュー、その他メニューと同様の調整を行うことができます。「～に信号が入力されていません」または「～の信号は同期範囲内です」のメッセージが表示されているとき、ワイヤレスリモコンの[メニュー]ボタンを押すと無信号時のメニューが表示されます。

/ ボタンで項目を選択し、◀/▶ボタンで調整します。



項目	操作
音量	音量の調整：小さく◀ ▶大きく
キーストン補正	設定する必要はありません。「±0」の設定でお使いください。
ブランク	ブランク画面色の選択：◀/▶ボタンで色を選択します。 *ワイヤレスリモコンで[ブランク]ボタンを押すと、画面全体が選択した色になります。
反転表示	設定する必要はありません。「左右反転」の設定でお使いください。
初期画面	設定する必要はありません。「表示しない」の設定でお使いください。
メニュー色	メニュー背景色の選択：◀/▶ボタンを押して色を選択します。
タイマー	設定する必要はありません。そのままの設定でお使いください。
表示言語	メニュー表示言語の選択： / ボタンで言語を選択します。選択した言語でメニューが表示されます。「日本語」の設定でお使いください。
自動オフ	設定する必要はありません。「停止」(0分)の設定でお使いください。
SYNC ON G	設定する必要はありません。通常「無効」の設定でお使いください。



タッチパネル操作



タッチパネルの基本操作

ここでは、タッチパネル機能の基本的な操作について説明します。タッチパネル機能を利用すると、指や付属の電子ペンで画面へ直接書き込んだり、Windowsで動作するアプリケーションをマウスで行うように操作したりできます。

重要

- スクリーンを硬い物でこする、または触ると、スクリーンに傷がつく恐れがあります。特に強くこすると傷がつきます。ただし、浅い傷がついた場合はスクリーンの表示にはほとんど影響ありません。

補足

- パソコンの映像を拡大して表示していると（拡大モード）、タッチパネル機能を正しく操作できません。タッチパネル機能を使用する場合は、パソコンの映像を標準の大きさにしてください。標準の大きさにするには、「映像を拡大して表示する」（P.38）を参照してください。

電子ペンの使い方

付属の電子ペンは、ホワイトボードに文字などを書くときと同じ感覚で、スクリーンへ手書きできます。そして、かすれや尾びきを目立たせずに、忠実に文字などを再現できます。もちろん、マウスと同じように左クリック、ダブルクリックなどのクリック操作も行うことができます。

電子ペンの使用範囲と角度について

電子ペンは本機スクリーン上でのみ使用できます。電子ペンは先端スイッチが押されたとき信号を発信して、その信号が本機背面の中央部にある受信ユニットで受信されます。信号を確実に受信するためには、電子ペンをスクリーンに対して 90° （ $\pm 30^{\circ}$ ）に立ててご使用ください。

イラスト新規：電子ペン角度

重要

- スクリーン上部で電子ペンの先端スイッチを上向きにして操作していると、電子ペンの信号が受信しにくくなりクリック操作ができなくなることがあります。電子ペンを使用する際は、できるだけスクリーンに対して垂直に先端スイッチを押し当ててください。
- 電子ペンとワイヤレスリモコンは同じ周波数が使用されています。電子ペンで操作中に、ワイヤレスリモコンを操作すると、電子ペンが操作できなくなります。電子ペンの操作中はワイヤレスリモコンを使用しない、またはいったん電子ペンの操作を中断して、ワイヤレスリモコンを使用してください。
- 手や服の袖などがスクリーンから十分離れるようにします。手や服の袖などがスクリーンに触れたり、近づきすぎたりすると、タッチパネルで認識され、思うように操作できないことがあります。

電子ペンの電源ON/OFF

電源をONにするには、ノック式のボールペンと同様の操作で、電子ペンの電源スイッチをON側に押し込みます。電源がONになると、電源LEDが点灯します。

電源をOFFにする場合は、もう一度同じ操作をします。電源LEDが消灯します。

イラスト新規：電子ペン電源スイッチオン/オフ

電子ペンの電源は、約5分間操作しない状態が続くと自動的にOFFになります。電源をONにするには電源スイッチを入れます。ただし、電子ペンを操作していなくても先端スイッチが押されると、操作している状態となり、5分経過しても電源はOFFになりません。

電子ペンの乾電池の寿命は常時使用で約1ヶ月です。電源スイッチをONにしても電源LEDが点灯しない、電子ペンが動作しなくなった、動作が不安定になった場合は、新しい電池に交換してください。

電子ペンのボタン操作（ クリック操作のほうがよいか？ ）

電子ペンには、ダブルクリックや右クリックなどを実行できる機能ボタンがあります。この機能ボタンを押しながら、電子ペンの先端スイッチをスクリーンにタッチすると、マウスと同じクリック操作ができます。機能ボタンは2つあり、それぞれにクリック操作を設定することができます。クリック操作の設定は、「」（P.）を参照してください。

左クリック

機能ボタンは使用しないで、先端スイッチをスクリーンに1回タッチします。マウスの左クリックと同じ操作です。

イラスト新規：先端スイッチの左クリック

ダブルクリック（機能ボタンなし）

スクリーンのある一定範囲以内で連続して2回タッチします。マウスの左ボタンを2回押すダブルクリックと同じ操作です。

イラスト新規：先端スイッチのダブルクリック（機能ボタンなし）

ダブルクリックする範囲と、2回続けてタッチする速度を設定することができます。「タッチパネル機能の設定」の「[ダブルクリック範囲/速度]」（P.90）を参照してください。

ダブルクリック（機能ボタン使用）

ダブルクリック操作が設定された機能ボタンを押しながら、先端スイッチを1回タッチします。マウスの左ボタンを2回押すダブルクリックと同じ操作です。

イラスト新規：先端スイッチのダブルクリック（機能ボタンあり）

ダブルクリックする範囲と、2回続けてタッチする速度を設定することができます。「タッチパネル機能の設定」の「[ダブルクリック範囲/速度]」（P.90）を参照してください。

右クリック（機能ボタン使用）

右クリック操作が設定された機能ボタンを押しながら、先端スイッチを1回タッチします。マウスの右ボタンを1回押す右クリックと同じ操作です。

イラスト新規：先端スイッチの右クリック（機能ボタンあり）

指のタッチ操作

タッチパネルへの触れ方

指でタッチパネルの操作を行うには、下図のように指先をスクリーンにできるだけ直角になるように立てて当てます。タッチパネルは感度が良く、すばやく反応するよう設計されています。線を引くような動作もスクリーンとの角度を保ったまま腕を動かしてください。



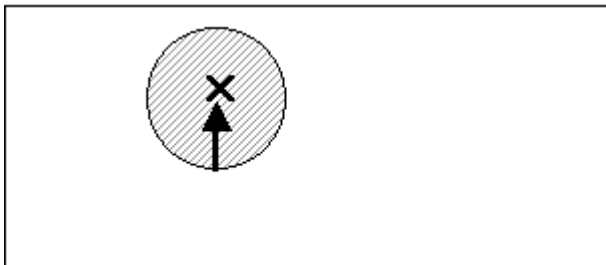
次に、指でタッチパネルに触れるときのポイントを紹介します。

- 指の腹をスクリーンに押し当てるようにして、指とスクリーンの角度をできるだけ直角に広げます。
- 手や服の袖などがスクリーンから十分離れるようにします。手や服の袖などがスクリーンに触れたり、近づきすぎたりすると、タッチパネルで認識され、思うように操作できないことがあります。
- 指の側面を当てたり、指とスクリーンの角度を狭めたりしないでください。この状態で操作しても認識されないことがあります。
- タッチした後、次の操作をする場合は指をスクリーンから離してから、目的の位置をタッチします。スクリーンから指を離さない、またはスクリーンと指の間が触れるか触れない間隔で指を移動するなどの場合、思うように操作できないことがあります。

クリック操作

左クリック

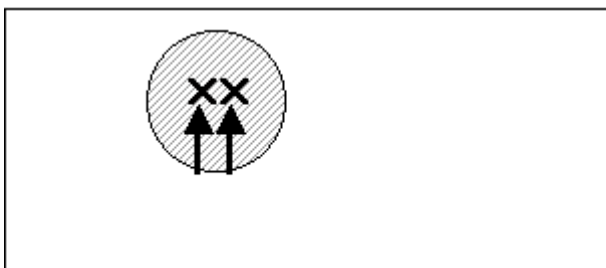
スクリーンのある位置を1回タッチします。マウスの左クリックと同じ操作になります。



イラスト訂正

ダブルクリック

スクリーンのある一定範囲内で連続して2回タッチします。マウスの左ボタンを2回押すダブルクリックと同じ操作です。

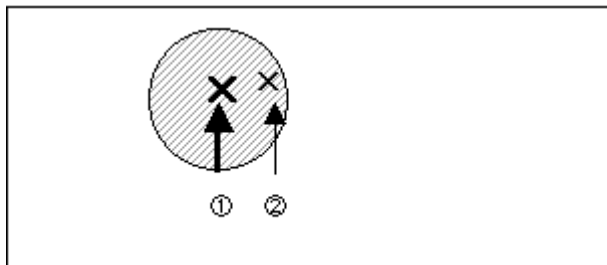


イラスト訂正

ダブルクリックする範囲と、2回続けてタッチする速度を設定することができます。「タッチパネル機能の設定」の「[ダブルクリック範囲/速度]」(P.90)を参照してください。

右クリック

スクリーンのある位置を1回タッチしたまま、その右側で一定範囲内の別の位置を1回タッチします。マウスの右ボタンを押す右クリックと同じ操作です。



イラスト訂正

2点をタッチするとき、その場所が有効となる範囲を設定することができます。「タッチパネル機能の設定」の「[2点タッチ有効範囲]」(P.91)を参照してください。

同時タッチ

スクリーン上からキー入力や画面キャプチャー、Windowsアプリケーションの起動などが行える機能です。詳しくは、次項「同時タッチ機能」を参照してください。

同時タッチ機能

同時タッチ機能は、キー入力や画面のキャプチャー、Windowsアプリケーションの起動などのメニューを表示させる操作です。会議や打ち合わせなど本機を使用中に、キー入力や画面のキャプチャー、そしてWindowsアプリケーションを起動する場合があります。この場合、パソコンのキーボードを使用したり、スクリーン下部のタスクバーを覗き込みながら操作したりしなければなりません。そんなとき、同時タッチ機能を使うとスクリーンに向ったまま、タッチ操作できます。

同時タッチ機能メニューの表示

1. スクリーンで2本の指を「Vの字」に開いて2箇所を「同時」にタッチします。

同時タッチモードとなり、指をタッチした位置にポップアップメニューが表示されます。

同時タッチモードはポップアップメニューが表示されている間です

2. 目的のメニューをタッチします。

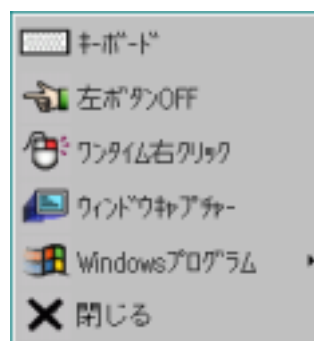
ポップアップメニューが消え、選択したメニューの機能が起動します。

各メニューの操作については、次ページ以降を参照してください。

3. 終了する場合は、[×閉じる] をタッチします。

ポップアップメニューが消えます。

または、メニューを選択しないで、ポップアップメニュー以外の場所をタッチします。ポップアップメニューが消え、同時タッチモードも解除されます。このとき、マウスカーソルはタッチした位置に移動しています。



ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボードは、タッチ操作でキー入力が行えるソフトウェアです。実際のキーボードと同じ要領でキー入力することができます。

たとえば、キャプチャーした画像などをファイルに保存する場合、ファイル名を入力するときに便利な機能です。

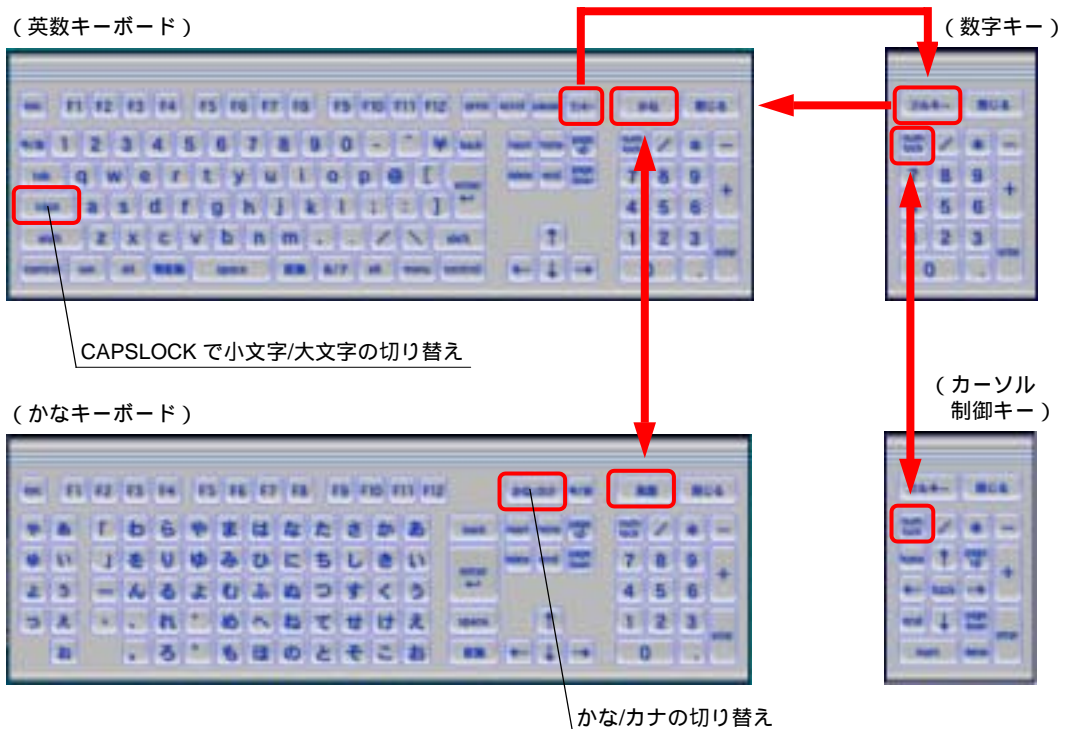
1. 同時タッチして、ポップアップメニューから
[キーボード]をタッチします。
ソフトウェアキーボードが表示されます。



キーボードの種類と切り替え

ソフトウェアキーボードには6種類のキーボードが用意されています。フルキーボードが「英数」の小文字/大文字（シフトキーを押した状態）と、「かな」のひらがな/カタカナ（[かな/カナ]キー切り替え）の4種類です。テンキーボードが、数字キーとカーソル制御キーの2種類です。

各キーボードの切り替えは、下図を参照してください。



左ボタンOFF

左ボタンOFFは、マウスと同様にマウスカーソルを移動させる機能です。通常、スクリーンで1回タッチすると左クリックになり、マウスのようにマウスボタンを押さずにマウスカーソルを移動させることができません。こんなとき、「左ボタンOFF」機能を使用します。

たとえば、一般的なWindows版アプリケーションが機能として持っている、ツールバーのボタンなどに設定されているポップヒントを表示させるときなどに使用します。ポップヒントとは、マウスカーソルがツールバーのボタン上にきたときに表示する簡単な操作説明のことです。

左ボタンOFFでは、タッチ操作はマウスカーソルの移動だけです。タッチ操作を元の左クリックに戻すには、左ボタンOFFの機能を終了します。

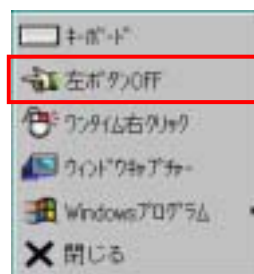
左ボタンをOFFにする：マウスカーソルの移動

1. 同時タッチして、ポップアップメニューから [左ボタンOFF] をタッチします。

タッチ操作はマウスカーソルの移動だけとなります。

Windowsタスクバーには  アイコンが表示されます。

右のポップアップメニューは、「左ボタン ON」状態時を示しています。



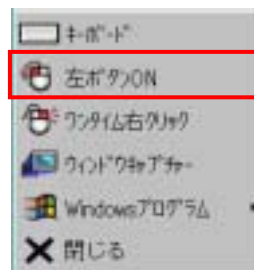
左ボタンをONに戻す：左クリック

1. 同時タッチして、ポップアップメニューから [左ボタンON] をタッチします。

タッチ操作は元の左クリックとなります。

Windowsタスクバーには  アイコンが表示されます。

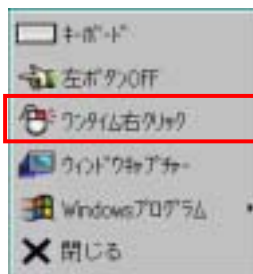
右のポップアップメニューは、「左ボタンOFF」状態時を示しています。



ワンタイム右クリック

通常のタッチ操作の右クリックは、アプリケーションによって正しく右クリックとして認識されないことがあります。1点目のタッチが「左ボタン」を押す、2点目のタッチが「左ボタン」を離して「右ボタン」を押す操作になります。アプリケーションによっては1点目を押した際に動作が変化してしまい、2点目を押した「右ボタン」を認識できないからです。ワンタイム右クリックを使用すると、1回のタッチ操作でマウスと同様に右クリックすることができます。ただし、1回だけの操作となります。

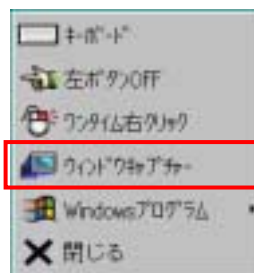
1. 同時タッチして、ポップアップメニューから[ワンタイム右クリック]をタッチします。
次の1回のタッチ操作だけが、右クリック操作となります。



ウィンドウキャプチャー

現在表示されているアクティブなウィンドウをキャプチャーできます。キーボードで [Alt] + [PrintScreen] とキー入力してキャプチャーする機能と同じです。

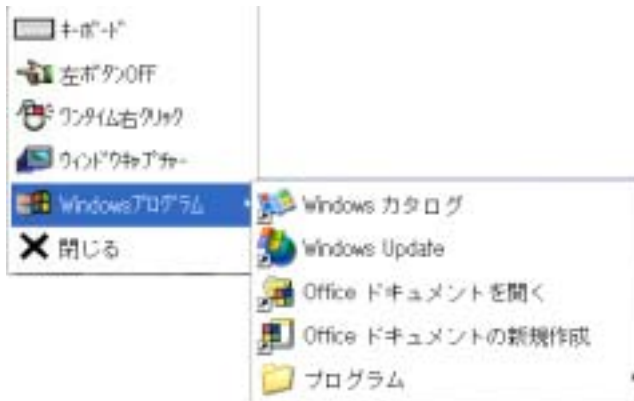
1. キャプチャーしたいウィンドウを表示させます。
2. 同時タッチして、ポップアップメニューから [ウィンドウキャプチャー] をタッチします。
アクティブなウィンドウがキャプチャーされます。



Windowsプログラムの実行

Windowsスタートボタンをタッチしないで、スクリーンの任意の場所でWindowsアプリケーションを起動することができます。

1. 同時タッチして、ポップアップメニューから [Windowsプログラム] をタッチします。スタートボタンをタッチして表示されるプログラムメニューが表示されません。



2. 目的のWindowsアプリケーションを起動します。

リコータッチパネルドライバーのインストール

本機でタッチパネル機能を利用するには、本機にWindowsパソコンを接続して、リコータッチパネルドライバー（MB500 RTD）をインストールする必要があります。添付されているリコータッチパネルドライバーは、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのOSに対応しています。各OSでのインストール手順に従って、リコータッチパネルドライバーをインストールしてください。

すでにリコータッチパネルドライバーがインストールされていて、再インストールする場合は、リコータッチパネルドライバーをアンインストールしてください。

重要

- Windows NT4.0/2000/XP へインストールする場合は、あらかじめ Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

Windows XPへのインストール

重要

- あらかじめ Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

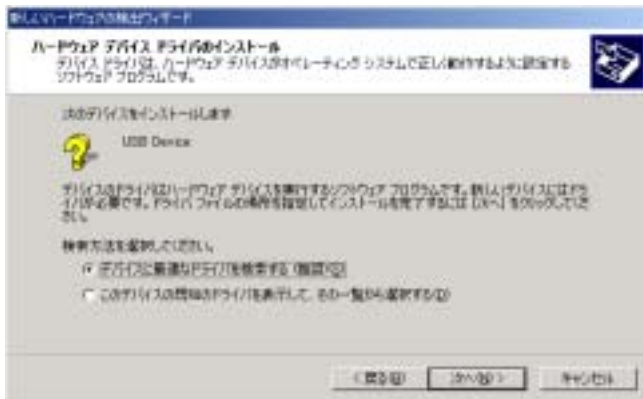
本機とパソコンをRS232Cケーブルで接続される場合は、「 Windows NTへのインストール」（P.82）を参照してください。

以下手順、画面は、要検証のこと。

1. 本機の電源をオンにして、パソコンを起動します。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。自動的にソフトウェアのインストールが始まり、[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。
2. [次へ] ボタンをクリックします。



3. 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」のラジオボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



4. [次へ] ボタンをクリックします。



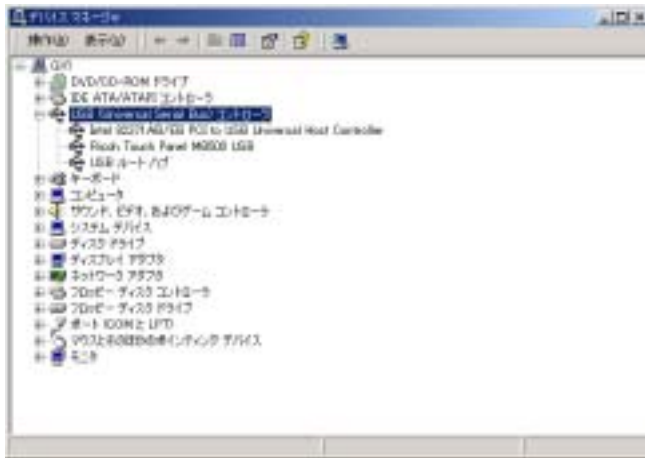
5. 「フロッピー ディスク ドライブ」チェックボックスを選択して、リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをセットします。
6. [次へ] ボタンをクリックします。
フロッピーディスクドライブが選択されていることを確認します。



7. [次へ] ボタンをクリックします。



8. [完了] ボタンを押すと、パソコンの再起動を促す画面が表示されます。指示に従って、パソコンを再起動します。
9. パソコンが再起動したら、リコータッチパネルドライバーのデバイス名が正しく認識されているかどうかを確認します。
[スタート] ボタンを押して、コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] 画面の [デバイスマネージャ] タブを開きます。
10. [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をクリックします。
画面例のように、「Ricoh Touch Panel MB500 USB」のデバイス名が表示されていることを確認してください。



11. デバイス名が確認できたら、引き続き通信プロトコル設定を行います。
リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをパソコンにセットします。
12. フロッピーディスクのSETUP.EXEを起動し、[次へ]ボタンを押します。
13. 本機との通信プロトコルを設定します。
[COMポート]は「なし」に設定し、[ボーレート]は設定しません。
14. [設定]ボタンを押します。
15. [完了]ボタンを押します。
16. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

これでリコータッチパネルドライバーのインストールは完了です。

リコータッチパネルドライバーはコントロールパネルに登録されて、「MB500の設定」アイコンが表示されています。

Windows 2000へのインストール

重要

- あらかじめ Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

本機とパソコンをRS232Cケーブルで接続される場合は、「Windows NTへのインストール」(P.82)を参照してください。

1. 本機の電源をオンにして、パソコンを起動します。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。自動的にソフトウェアのインストールが始まり、[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。
2. [次へ]ボタンをクリックします。



3. 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」のラジオボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



4. [次へ] ボタンをクリックします。



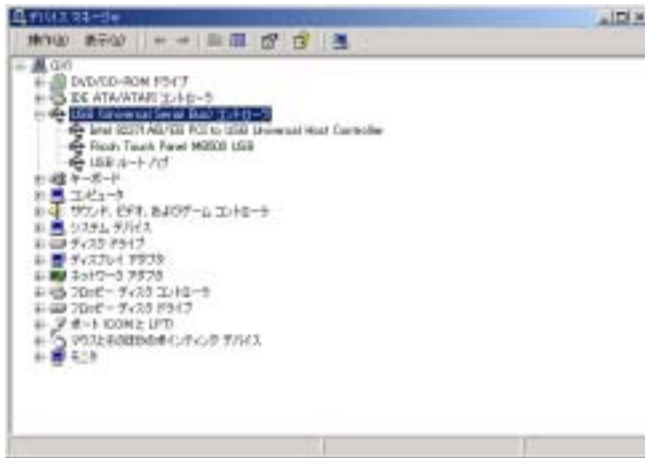
5. 「フロッピー ディスク ドライブ」チェックボックスを選択して、リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをセットします。
6. [次へ] ボタンをクリックします。
フロッピーディスクドライブが選択されていることを確認します。



7. [次へ] ボタンをクリックします。



8. [完了] ボタンを押すと、パソコンの再起動を促す画面が表示されます。
指示に従って、パソコンを再起動します。
9. パソコンが再起動したら、リコータッチパネルドライバーのデバイス名が正しく認識されているかどうかを確認します。
[スタート] ボタンを押して、コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] 画面の [デバイスマネージャ] タブを開きます。
10. [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をクリックします。
画面例のように、「Ricoh Touch Panel MB500 USB」のデバイス名が表示されていることを確認してください。



11. デバイス名が確認できたら、引き続き通信プロトコル設定を行います。
リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをパソコンにセットします。
12. フロッピーディスクのSETUP.EXEを起動し、[次へ]ボタンを押します。
13. 本機との通信プロトコルを設定します。
[COMポート]は「なし」に設定し、[ボーレート]は設定しません。
14. [設定]ボタンを押します。
15. [完了]ボタンを押します。
16. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

これでリコータッチパネルドライバーのインストールは完了です。

リコータッチパネルドライバーはコントロールパネルに登録されて、「MB500の設定」アイコンが表示されています。

Windows 98へのインストール

本機とパソコンをRS232Cケーブルで接続される場合は、「Windows 95へのインストール」(P.80)を参照してください。

1. 本機の電源をオンにして、パソコンを起動します。
2. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。
自動的に[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。
3. [次へ]ボタンを押します。
検索方法を選択する画面が表示されます。
4. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のラジオボタンを選択します。



5. [次へ] ボタンを押します。

新しいハードウェア用のドライバーのインストールを要求するメニューが表示されます。



6. 「フロッピー ディスク ドライブ」チェックボックスを選択して、リコータッチパネルドライバーのUSBドライバーのあるフロッピーディスクをセットします。
7. [次へ] ボタンを押します。

リコータッチパネルドライバーの型名「Ricoh Touch Panel MB500 USB」が表示され、「ドライバのある場所」でフロッピーディスクドライブが選択されていることを確認します。



8. [次へ] ボタンを押すと、インストールが開始されます。
しばらくすると、リコータッチパネルドライバのインストールが完了した画面が表示されます。



9. [完了] ボタンを押すと、パソコンの再起動を促す画面が表示されます。
指示に従って、パソコンを再起動します。
10. パソコンが再起動したら、リコータッチパネルドライバのデバイス名が正しく認識されているかどうかを確認します。
[スタート] ボタンを押して、コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] メニューの [デバイスマネージャ] タブを開きます。
11. [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] をクリックします。
画面例のように、「Ricoh Touch Panel MB500 USB」のデバイス名が表示されていることを確認してください。



12. デバイス名が確認できたら、引き続いて設定ソフトウェアのインストールを行います。リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスク「Disk 1」をパソコンにセットします。
13. フロッピーディスクのSETUP.EXEを起動し、[次へ]ボタンを押します。インストール中にフロッピーディスクの交換が指示されたら、「Disk 2」に交換して作業を続けてください。
14. 本機との通信プロトコルを設定します。
[COMポート]は「なし」に設定し、[ボーレート]は設定しません。
15. [設定]ボタンを押します。
16. [完了]ボタンを押します。
17. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

これでリコータッチパネルドライバーのインストールは完了です。

リコータッチパネルドライバーはコントロールパネルに登録されて、「MB500の設定」アイコンが表示されています。

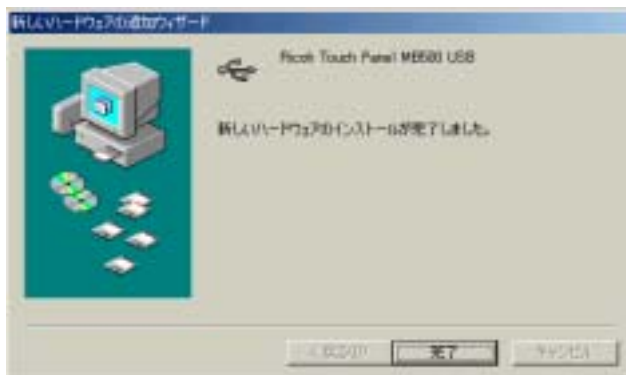
Windows Meへのインストール

本機とパソコンをRS232Cケーブルで接続される場合は、「Windows 95へのインストール」(P.80)を参照してください。

1. 本機の電源をオンにして、パソコンを起動します。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。自動的にソフトウェアのインストールが始まり、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。
2. リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入します。
3. 「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」のラジオボタンを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



4. [次へ] ボタンを押すと、インストールが開始されます。
しばらくすると、リコータッチパネルドライバのインストールが完了した画面が表示されます。画面例のように、「Ricoh Touch Panel MB500 USB」のデバイス名が表示されていることを確認してください。



5. [完了] ボタンを押すと、パソコンの再起動を促す画面が表示されます。
指示に従って、パソコンを再起動します。
6. パソコンが再起動したら、リコータッチパネルドライバのデバイス名が正しく認識されているかどうかを確認します。
[スタート] ボタンを押して、コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] 画面の [デバイスマネージャ] タブを開きます。
7. [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] をクリックします。
画面例のように、「Ricoh Touch Panel MB500 USB」のデバイス名が表示されていることを確認してください。



8. デバイス名が確認できたら、引き続き通信プロトコル設定を行います。
リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをパソコンにセットします。
9. フロッピーディスクのSETUP.EXEを起動し、[次へ]ボタンを押します。
10. 本機との通信プロトコルを設定します。
[COMポート]は「なし」に設定し、[ボーレート]は設定しません。
11. [設定]ボタンを押します。
12. [完了]ボタンを押します。
13. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

これでリコータッチパネルドライバーのインストールは完了です。

リコータッチパネルドライバーはコントロールパネルに登録されて、「MB500の設定」アイコンが表示されています。

Windows 95へのインストール

タッチパネルドライバーのインストール

1. RS232Cケーブルで本機とパソコンを接続します。
2. リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをセットします。
3. フロッピーディスクのSETUP.EXEを起動します。
4. [次へ] ボタンを押します。
5. 本機との通信プロトコルを設定します。



[COMポート]

接続しているポートを選択します。

[ボーレート]

設定は不要です。38400に固定です。

6. [設定] ボタンを押します。
7. [完了] ボタンを押します。
8. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

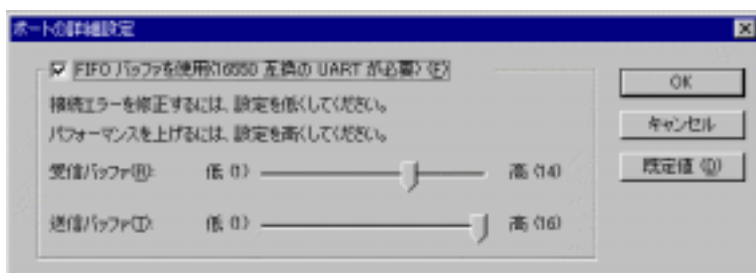
これでリコータッチパネルドライバーのインストールは完了です。

リコータッチパネルドライバーはコントロールパネルに登録されて、「MB500の設定」アイコンが表示されています。

通信ポートの詳細設定

続いて、通信ポートの「FIFOバッファ」を設定します。

1. コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] メニューの [デバイスマネージャ] タブを選択します。
2. ポート (COM/LPT) をクリックして表示されたポートの中から、接続している通信ポートをクリックします。
3. [プロパティ] ボタンを押して、通信ポートのプロパティを表示します。
4. [ポートの設定] タブを選択して、[詳細設定] ボタンを押します。
[ポートの詳細設定] メニューが表示されます。



5. 「FIFOバッファを使用」のチェックボックスをオンにして、[既定値] ボタンを押します。
6. [OK] ボタンを続けて押して、コントロールパネルでの設定を終了します。

これで通信ポートのFIFOバッファの設定を終了します。

Windows NTへのインストール

タッチパネルドライバのインストール

インストールを行うときは、Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。「システム・ディレクトリへのファイルコピー」と「レジストリ・ファイルの更新」が実行されます。

1. RS232Cケーブルで本機とパソコンを接続します。
2. リコータッチパネルドライバのフロッピーディスクをセットします。
3. フロッピーディスクのSETUP.EXEを起動します。
4. [次へ] ボタンを押します。
5. 本機との通信プロトコルを設定します。



[COMポート]

接続しているポートを選択します。

[ボーレート]

設定は不要です。38400に固定です。

6. [設定] ボタンを押します。
7. [完了] ボタンを押します。
8. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

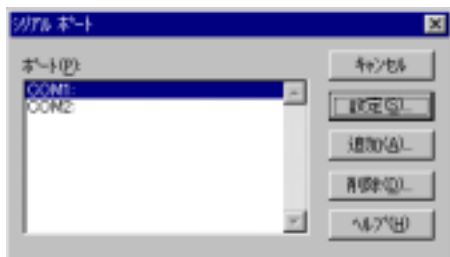
これでリコータッチパネルドライバのインストールは完了です。

リコータッチパネルドライバはコントロールパネルに登録されて、「MB500の設定」アイコンが表示されています。

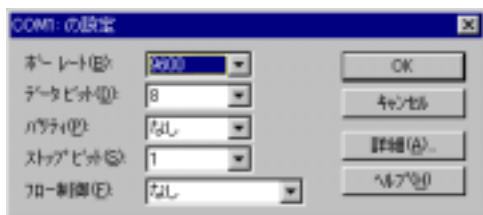
通信ポートの詳細設定

続いて、通信ポートの「FIFOバッファ」を設定します。

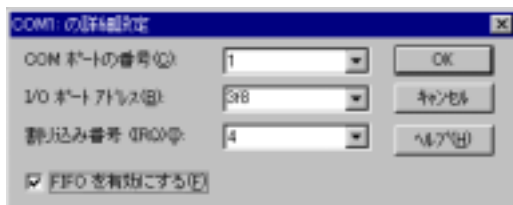
1. [スタート] ボタンを押して、設定、コントロールパネル、シリアルポートを続けて選択します。[シリアルポート] ダイアログが表示されます。



2. 表示されたポートの中から接続している通信ポートをクリックします。画面例では、COM1 : を選択しています。
3. [設定] ボタンを押します。選択した通信ポートの設定内容のダイアログが表示されます。



4. [詳細] ボタンを押します。詳細設定のダイアログが表示されます。



5. 「FIFOバッファを使用」のチェックボックスをオンにして、[OK] ボタンを押します。
6. [OK] ボタンを続けて押して、[シリアルポート] ダイアログを閉じます。

これで通信ポートのFIFOバッファの設定を終了します。

アンインストールと再インストール

重要

- Windows NT4.0/2000/XP では、あらかじめ Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

アンインストール

1. コントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を起動します。
2. 「リコータッチパネルドライバー」を選択し、[追加と削除] ボタンを押します。
3. 後はメッセージの内容に従って操作してください。

再インストール

リコータッチパネルドライバーを再インストールする場合は、一度アンインストールしてから、インストール作業を行ってください。

タッチパネル機能の設定

設定の開始と終了

重要

- パソコンの映像を拡大して表示していると（拡大モード）、タッチパネル機能を正しく操作できません。タッチパネル機能を使用および設定する場合は、パソコンの映像を標準の大きさにしてください。標準の大きさにするには、「映像を拡大して表示する」（P.38）を参照してください。
- タッチパネル機能を設定した後に、映像調整メニューで映像の垂直位置または水平位置を変更すると、タッチパネル機能を正しく操作できなくなります。映像位置を変更した場合は、もう一度タッチパネル機能の位置補正を設定しなおしてください。位置補正については、「[位置補正開始]」（P.87）を参照してください。

1. [スタート] ボタンから、設定、コントロールパネルを続けて選択します。
2. 「MB500の設定」アイコンをダブルクリックします。
[RICOH MEDIASITE MB500のプロパティ] ダイアログが表示されます。



3. 必要に応じて、各設定を行います。
[一般設定]の設定方法は、「初期設定」(P.87)を参照してください。
[管理情報]の設定方法は、「管理情報」(P.93)を参照してください。
[自己診断]の設定方法は、「自己診断」(P.94)を参照してください。
[SCログ]の設定方法は、「SCログ」(P.95)を参照してください。
4. 設定を保存して終了する場合は、[OK]ボタンを押します。
変更した設定を破棄する場合は、[キャンセル]ボタンを押します。
[RICOH MEDIASITE MB500のプロパティ]ダイアログが閉じます。

重要

- Windows タスクバーには、タッチパネル機能が動作していることを示すアイコンがあります。



一般設定

初期設定

タッチパネルの位置補正やダブルクリックの有効範囲などタッチパネル機能の初期設定を行います。詳細は「初期設定」(P.87)を参照してください。

バージョン情報

リコータッチパネルドライバーのバージョン情報を表示できます。

[RICOH MEDIASITE MB500のプロパティ]ダイアログで、[バージョン情報]を選択します。



初期設定

[RICOH MEDIASITE MB500のプロパティ] ダイアログで [初期設定] ボタンを押すと、[初期設定] ダイアログが表示されます。



パネル補正

[位置補正開始]

指などで画面を押したときの位置を補正します。

補 足

- 位置補正を行った後、パソコンの映像を拡大して表示すると（拡大モード）、タッチパネル機能を正しく操作できなくなります。タッチパネル機能を使用する場合は、パソコンの映像を標準の大きさにしてください。
- 位置補正を行った後、映像の垂直位置または水平位置を変更すると、タッチパネル機能を正しく操作できなくなります。映像位置を変更した場合は、もう一度タッチパネルの位置補正を行ってください。

1. [パネル補正] タブを選択します。
2. [位置補正開始] ボタンを押します。全画面で位置補正画面が表示されます。

3. 画面左上にポイントが表示されるので、指などで約1秒間押します。このあと、ポイントを押すたびにポイントの位置が左下、右上と移動するので、同様にしてポイントを押します。このポイントを「補正点」と呼びます。



4. 確認メッセージに対して [OK] ボタンを押します。[位置補正值登録] タイアログが表示されます。

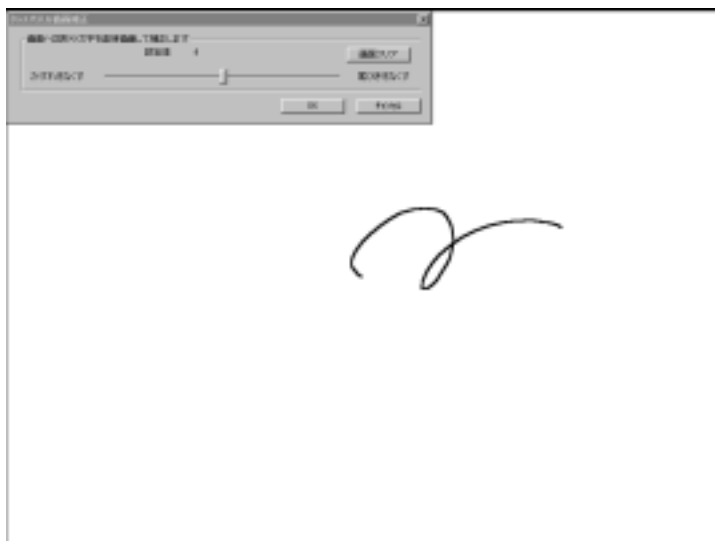


5. 補正したデータを登録する場合は、登録名を入力して [OK] ボタンを押します。

[かすれ/尾びき補正開始]

指が画面に触れていると判断する距離を適正化（かすれ/尾びき補正）します。

1. [パネル補正] タブを選択します。
2. [かすれ/尾びき補正開始] ボタンを押します。
[タッチパネル描画補正] ダイアログが表示され、テスト描画のためのウィンドウが表示されます。
3. スライダーを左右に動かしてから、画面をなぞるように一連の自由曲線を描いてみます。



線を描いているつもりなのにところどころかすれていたり、指などを離れたつもりなのに余分な線が検出されたりということがなくなるように、スライダーを調整します。

[画面クリア] ボタンを押すとテスト描画のためのウィンドウが白紙の状態に戻ります。

4. 調整が終了したら、[OK] ボタンを押します。

パネル設定

[パネル設定] タブでは、登録した補正データの選択、そしてダブルクリック、2点タッチ有効範囲などオプション機能の設定を行います。



画面変更：ペンスイッチ機能追加

タッチパネル位置補正

[パネル補正] タブの [位置補正開始] で登録した補正データを選択できます。

ボタンを押して、登録名を選択します。

オプション

[ダブルクリック範囲/速度]

ダブルクリックしたとき、つまり指などで画面を2回続けてタッチしたときの時間間隔（速度）および位置のズレ（範囲）が調整できます。

1. [ダブルクリック範囲/速度] ボタンを押します。[ダブルクリックの設定] ダイアログが表示されます。



2. 速度と範囲のスライダーで、ダブルクリックの速度と範囲を設定します。
3. スライダーの下にあるボックス内でダブルクリックして、速度を確認します。ダブルクリックが認識されると黄色に点滅します。
4. 調整が終了したら、[OK] ボタンを押します。

[2点タッチ有効範囲]

右クリックなど2本の指を使ったタッチ操作を行うとき、2点をタッチした場所が有効となる範囲を設定します。

1. [2点タッチ有効範囲] ボタンを押します。 [2点タッチ有効範囲の設定] ダイアログが表示されます。



2. 範囲のスライダーで、2点タッチの範囲を設定します。
3. 調整が終了したら、 [OK] ボタンを押します。

[ペンスイッチ機能]

電子ペンの機能ボタンにクリック操作を設定します。

設定手順は、画面内容確定後、操作確認の上、原稿作成の予定。

新規画面

[クリック音を鳴らす]

画面に触れたときに音を鳴らすことができます。 [クリック音を鳴らす] チェックボックスを選択すると、画面に触れたときに音が鳴ります。チェックを外すと音は鳴りません。

[尾びきを自動削除する]

尾びきを補正しても、使用する人によって指の触れ具合やスピードが異なります。 [尾びきを自動削除する] チェックボックスを選択すると、実際には描画していても尾びきと判断されて、描画した内容が削除されてしまうことがあります。このような状況が起きた場合は、チェックを外してください。

[かすれ自動検知する]

[かすれ自動検知する] チェックボックスを選択すると、描画中に洋服の袖や肘などが触れてもかすれと判断されずに、そのまま描画できます。

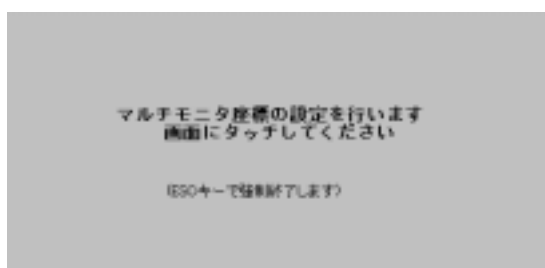
チェックを外すと、描画中に洋服の袖や肘などが触れたときかすれと判断されて、描画が途切れてしまいます。タッチパネル描画補正でかすれをなくす設定をしても、このような状況が起きる場合は、このチェックボックスを選択してください。

[タッチパネル仮想座標設定]

一台のパソコンに、メディアサイトを含む複数のモニタが接続されていた場合、どのモニタにメディアサイトが接続されたかを確認します。複数のモニタに接続できないパソコンをお使いの場合は、このボタンがグレー表示になります。

1. [タッチパネル仮想座標設定] ボタンを押します。

いずれかのモニタの画面にメッセージが表示されます。約10秒経つと、次のモニタの画面に同じメッセージが移行して表示されます。



2. メディアサイトの画面にメッセージが表示されたら、その画面にタッチします。



3. [OK] ボタンを押します。

管理情報

タッチパネルのハードウェアの情報が表示されます。基本的にはカスタマーエンジニア用です。



RS232C通信プロトコル設定

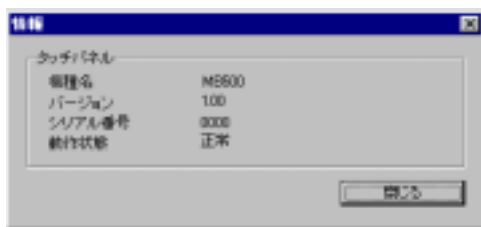
パソコン側のRS232C通信プロトコルで使用するポートやボーレートを表示できます。USBを使用している場合は、選択する必要はありません。

1. [RS232C通信プロトコル設定] ボタンを押すと、[RS232C通信プロトコル設定] ダイアログが表示されます。
2. 「COMポート」を選択します。他の項目は設定を変更しないでください。



情報

[情報] ボタンを押すと、タッチパネルの情報が表示されます。



SC連絡先

[SC連絡先] ボタンを押すと、サービス実施店の担当者と連絡先が表示されます。



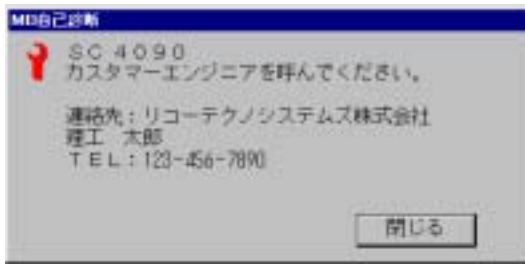
自己診断

タッチパネルのハードウェアを診断します。



1. 診断項目のチェックボックスを選択し、[診断開始] ボタンを押します。
診断中は、画面に触れないでください。

2. 異常がある場合は、エラーコードとメッセージが表示されます。
メッセージ内容に従ってください。



3. [閉じる] ボタンを押します。

SCログ

ハードウェアやソフトウェアの履歴情報が表示されます。基本的にはカスタマーエンジニア用です。





メンテナンス



異常時の処置

警告



- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにON/スタンバイボタン、主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずON/スタンバイボタン、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

修理を依頼する前に

修理を依頼される前に、お客様に調べていただきたい内容を以下にまとめています。以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止してください。故障状態のままご使用になると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店にご連絡ください。

現象による状態チェックと処置

このようなときは...	ここをお調べください	処置
画面に何も映らない！	主電源スイッチは入っていますか？	主電源スイッチを入れてください。
	ON/スタンバイインジケータが消えていませんか？	電源コードを正しく接続してください。 主電源スイッチを入れてください。
	RGB入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルが正しく接続されていますか？	RGB入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルを正しく接続してください。
	接続されている機器が正しく作動していますか？	接続されている機器を正しく作動させてください。
	適正な信号ケーブルが接続されていますか？	適正な信号ケーブルを接続してください。
	接続されている入力信号を正しく選択していますか？	接続されている入力信号を選択してください。
	内部の温度が高すぎませんか？（TEMPインジケータが赤く点灯、または点滅していませんか？）	30分以上本機を放置冷却した後、電源を入れなおしてください。再び、同一現象が現れる場合は、サービス実施店にご相談ください。
	光源ランプが切れていませんか？（LAMPインジケータが赤く点灯していませんか？）	主電源スイッチを切って30分以上放置した後、再度主電源スイッチを入れてください。再び、同一現象が現れる場合は、サービス実施店にご相談ください。
	電源を切ってからすぐに電源を入れましたか？（ON/スタンバイインジケータが緑に点滅していますか？）	故障ではありません。映像が映るまで数分かかります。しばらくお待ちください。
	明るさの調整が、暗い側いっぱいに設定されていませんか？	ワイヤレスリモコンで、明るさを調整してください。
ワイヤレスリモコンが操作できない！	外部機器の入力切り替えが正しく設定されていますか？	ワイヤレスリモコンまたはコントロールパネル部で、入力する外部機器を正しく設定してください。
	電池が正しくセットされていますか？	電池を正しくセットしてください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	本機のスクリーンにリモコン発光部を正しく向けていますか？	本機のスクリーンにリモコン発光部を正しく向けて操作してください。

このようなときは...	ここをお調べください	処 置
タッチパネルが認識しない！	タッチパネルに触れた指が認識されていません。タッチパネルが指を認識できるよう調整する必要があります。	「MB500の設定」で、かすれ/尾びき補正を行ってください。
	タッチパネルを指で操作するとき、指の側面を使用したり、指とスクリーンの角度が狭かったり、手や服の袖などがスクリーンに近づきすぎていませんか？	タッチパネルを指で操作する場合は、指の腹をスクリーンに押し当てるようにして、指とスクリーンの角度をできるだけ直角に広げます。そのとき、手や服の袖などがスクリーンから十分離れるようにしてください。
	スクリーンに太陽や照明など強い光があたっていませんか？	太陽や照明など強い光が、本機にあたらないよう移動または設置してください。
	接続しているパソコンにリコータッチパネルドライバーがインストールされていますか？また、リコータッチパネルドライバーが正しく動作していますか？	本機でタッチパネルの機能を使用する場合は、リコータッチパネルドライバーが必要です。接続しているパソコンにリコータッチパネルドライバーをインストールしてください。
	スクリーンに異物が貼付されていませんか？	スクリーンに貼付された異物を取り除いてください。
	ご使用のRS232Cケーブルは適正な信号ケーブルですか？	RS232Cケーブルは、適正な信号ケーブル(ストレートケーブル)を使用してください。
	USBケーブルが外れていませんか？	正しく接続してください。
	電子ペンを正しい角度で操作していますか？	電子ペンの先端スイッチをスクリーンに垂直に当てて操作してください。
	電子ペンの電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	電子ペンが自動パワーOFFの状態になっていませんか？	もう一度電源をONにしてください。
タッチパネルで操作できない！	タッチパネルを制御するシステムの故障が考えられます。	電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。
	パソコンの映像を拡大して表示していませんか？(拡大モード)	ワイヤレスリモコンの[標準]ボタンを押して、標準の表示に戻してください。
	タッチパネル機能を設定後、映像調整メニューで、垂直位置または水平位置を変更していませんか？	もう一度、タッチパネル機能の位置補正をやり直してください。
音が出ない！	音量が小さくなりすぎていませんか？	音量を調整してください。
	消音状態ですか？	ワイヤレスリモコンの[消音]ボタンを押してください。
	外部機器との接続ケーブルが端子に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
映像が暗い！	明るさ、コントラストを正しく調整していますか？	ワイヤレスリモコンで、明るさを調整してください。
	光源ランプの寿命が近づいていませんか？	サービス実施店に依頼して、光源ランプを交換してください。
映像がぼやける！	「クロック位相」または「水平サイズ」が合っていない可能性があります。	ワイヤレスリモコンで、「クロック位相」または「水平サイズ」を調整してください。

このようなときは...	ここをお調べください	処 置
映像がぼやけて残る！	同一の静止画像を長時間ご覧になられた場合、画面を切り替えてもまれに静止画像がぼやけて残ることがありますが、これは故障ではありません。画像残りは、数日間放置しておくとも自然に出なくなります。	
映像に赤、青、黄などの光る点が見える！	本機の方式特有のもので、故障ではありません。	
映像が乱れ、音声に雑音が入る！	外部機器との接続ケーブルが端子に正しく接続されていますか？	接続プラグを端子の奥までしっかりと接続してください。
	他の機器の近くに設置しているために他の機器からの妨害電波を受けていませんか？	本機を他の機器から離してください。
色がうすい、色合いが悪い！	色の濃さ、色合いを正しく調整していますか？	映像メニューで、色の濃さ、色合いを調整してください。
ON/スタンバイのインジケーターが赤く点灯している！	LAMPおよびTEMPのインジケーターの状態を確認して処置してください。	
光源ランプを交換するメッセージが表示された！	光源ランプを交換する時期にきています。	光源ランプの交換は、サービス実施店にご相談ください。
カスタマーエンジニアに修理を依頼するメッセージ（サービスコール）が表示された！	「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」メッセージが表示中に、タッチパネルを触りましたか？	外部機器の入力システムを現在使用しているシステムから別のシステムに切り替えてから、元に戻してください。
	タッチパネルを制御するシステムの故障が考えられます。	電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。
「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」メッセージが表示された！	パソコンシステムを切り替える、またはどちらかのビデオシステムを使用した後にパソコンシステムに切り替えると、このメッセージが表示されます。本機特有のもので、故障ではありません。 このメッセージが消えるまで、お待ちください。	
額縁と本体の間に物が落ちて、取れない！	フロントカバーを開けて、落下物を取り除いてください。万が一、落下物が取れない場合は、本書の手順に従って本機の電源をオフにして、電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。	
電子ペンが操作できない！	電池が正しくセットされていますか？	電池を正しくセットしてください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	正しい角度で使用していますか？	先端スイッチを本機のスクリーンに垂直にして操作してください。
	自動パワー-OFFの状態になっていませんか？	もう一度電源をONにしてください。

インジケーターによる状態チェックと処置

本機のコントロールパネルには、本機の状態を知らせるインジケーターが3つあります。各インジケーターは、光り方によって本機の状態や異常を知ることができます。

各インジケーターの機能

インジケーター名	説明
ON/スタンバイインジケーター	主電源スイッチおよびコントロールパネルのON/スタンバイボタンで、オン/オフを行ったときの状態を知らせます。赤色で点灯している場合は、LAMPインジケーターまたはTEMPインジケーターで異常が知らされています。
LAMPインジケーター	ランプカバーおよびフィルターの取り付けが不良であったり、光源ランプの消耗や寿命などで光源ランプが点灯しないとき、赤く点灯します。
TEMPインジケーター	内部温度の異常、冷却ファンの停止を知らせます。通気環境が不良で内部温度が高くなると赤く点灯し、冷却ファンが停止すると赤く点滅します。

異常な状態の処置のしかた

インジケーターの光り方で異常を確認したら、下表の内容に従って処置を行ってください。処置を行う場合は、主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、作業してください。それでも異常がある場合は、サービス実施店にご相談ください。

ON/スタンバイインジケーター	LAMPインジケーター	TEMPインジケーター	状態と処置
橙色の点灯	消灯	消灯	スタンバイ状態です。
緑色の点滅	消灯	消灯	ウォームアップ中です。
緑色の点灯	消灯	消灯	オン状態です。操作可能です。
橙色の点滅	消灯	消灯	クールダウン中（光源ランプ冷却中）です。
赤色の点灯	赤色の点灯	消灯	光源ランプが点灯しません。内部が熱くなっている可能性があります。電源をオフにして30分程度おいて、本機を冷ましてから再度電源をオンにしてください。再度同じ状態になる場合は、光源ランプを交換してください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご相談ください。
赤色の点灯	赤色の点滅	消灯	光源ランプまたはランプカバーが無いが、取付が不完全です。電源をオフにして、サービス実施店にご相談ください。
赤色の点灯	消灯	赤色の点滅	冷却ファンが動作していません。電源をオフにして、サービス実施店にご相談ください。

ON/スタンバイ インジケーター	LAMP インジケーター	TEMP インジケーター	状態と処置
赤色の点灯	消灯	赤色の点灯	本機の内部が熱くなっています。 電源をオフにして30分程度おいて、本機を冷ましてから、通風孔がふさがっていないか、周囲温度が35℃を越えていないかなどを確認してください。処置後、電源をオンにしても再度同じ状態になる場合は、サービス実施店にご相談ください。

補 足

- 本機内部の温度が上がりすぎると、安全のため自動的に電源がオフになります。いったん主電源スイッチをオフにして、30分程度おいて本機を十分に冷ましてから、再度主電源スイッチをオンにしてください。

メッセージによる状態表示と処置

本機の電源をオンしたとき、下表のようなメッセージが画面に表示されることがあります。このような場合は、下表の内容に従って対処してください。

処置を行う場合は、主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、作業してください。それでも異常がある場合は、サービス実施店にご相談ください。

プロジェクタの状態を示すメッセージ

メッセージは表示言語の設定により、日本語または英語で表示されます。

(*)このメッセージは約3分で消去しますが、電源をオンにするたびに表示されます。

メッセージ	状態と処置
ランプを交換してください。ランプ交換後、ランプタイマーをリセットして下さい。(*)	光源ランプの使用時間が1,700時間を越え、寿命に近づいています。光源ランプの使用時間が寿命に達すると、自動的に光源ランプが消灯されます。新しい光源ランプに交換してください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご依頼ください。
CHANGE THE LAMP AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER (*)	
ランプを交換してください。ランプ交換後、ランプタイマーをリセットして下さい。 **時間後に電源を切ります。(*)	光源ランプの使用時間が1,979時間を越えると左の表示になり、寿命に近づいています。 光源ランプの使用時間が寿命に達するまで、あと**時間です。
CHANGE THE LAMP AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER THE POWER WILL TURN OFF AFTER **hr (*)	あと**時間使用すると、自動的に光源ランプが消灯されます。新しい光源ランプに交換してください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご依頼ください。

メッセージ	状態と処置
ランプを交換してください。ランプ交換後、ランプタイマーをリセットして下さい。0 時間後に電源を切ります。	光源ランプの使用時間が寿命に達しましたので、まもなく自動的に光源が消灯されます。
CHANGE THE LAMP AFTER REPLACING LAMP, RESET THE LAMP TIMER THE POWER WILL TURN OFF AFTER 0hr	すぐにスタンバイ状態にした後、主電源スイッチを切り、サービス実施店に光源ランプの交換をご依頼ください。
**に信号が入力されていません	パソコンまたはビデオからの入力信号が見つかりません。
NO INPUT IS DETECTED ON ***	パソコンやビデオの接続または表示する系統選択と一致していることを確認してください。
**の信号は同期範囲外です	現在の入力信号の水平または垂直周波数は、本機では対応できません。
SYNC IS OUT OF RANGE ON **	パソコンのRGB出力信号の設定を変更してください。
通風孔をチェックしてください。	内部の温度が上昇しています。
CHECK THE AIR FLOW	電源をオフにして30分程度おいて、本機を冷ましてから、通風孔がふさがっていないか、周囲温度が35℃を越えていないかなどを確認してください。処置後、電源をオンにしても再度同じ状態になる場合は、サービス実施店にご相談ください。

フロント端子部、タッチパネル機能の状態を示すメッセージ

以下のメッセージは、リコータッチパネルドライバーを使用している場合に表示されます。

リコータッチパネルセンサー部

メッセージ	状態	処置
SC 40XX	電子回路のエラーです。	サービス実施店にお問い合わせください。
SC 4080	リコータッチパネルセンサーの発光部のエラーです。	サービス実施店にお問い合わせください。
SC 4081		
SC 4084	リコータッチパネルセンサーの受光部のエラーです。	サービス実施店にお問い合わせください。
SC 4085		
SC 4090	スクリーンに異物が貼付されている、また初期化中に手が触れたときに発生する、タッチ範囲エラーです。	コントロールパネルの[PC入力]ボタンでパソコンを切り替えてください。メッセージが再度表示される場合は、サービス実施店にお問い合わせください。
SC 4091		

リコータッチパネルドライバー部

メッセージ	状態	処置
SC-D0XX	フロント端子部とパソコン間での通信エラーです。	ケーブルの接続を確認してください。RS232Cケーブルで接続している場合は、適切な通信速度に設定してください。

額縁とスクリーンの際間の落下物を取る

⚠ 警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。

⚠ 注意



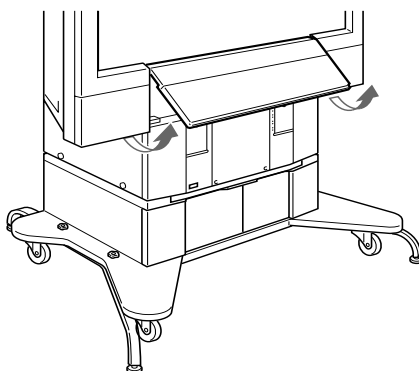
- 危険ですので、レーザー光を直接のぞき込まないでください。

重要

- 必ずスタンバイ状態にしてから、カバーを開けてください。電源がオンになっている、タッチパネル機能が使用できる状態（パソコンが接続されている状態）でカバーを開けると、誤動作の原因となります。

額縁とスクリーンには隙間があります。誤って隙間に物を落としてしまった場合は、本機をスタンバイ状態にしてから、本機正面のスクリーン真下のフロントカバーを開き、落下物を取ります。万が一、落下物が取れない場合は、本書の手順に従って本機の電源をオフにして、電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。

[フロントカバーの開け方]



お手入れ

外装のお手入れ

- 柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってから、汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 本機背面の通風孔についたほこりは、1～2ヶ月に一度掃除機で吸い取ってください。

タッチパネルのお手入れ

タッチパネル表面に汚れ、異物が付着すると、誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、水または水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸してよくしぼり、軽く拭き取ってください。

光源ランプの交換

光源ランプの交換は、サービス実施店にご依頼ください。

本機には、スクリーンに映像を投影するために光源ランプが内蔵されています。光源ランプは点灯した時間に応じて消耗して、寿命となります（故障ではありません）。通常のランプ同様に長時間使用すると光源ランプも消耗し、輝度の低下や色あいが不鮮明となり、性能低下の原因となります。光源ランプが消耗したときは、新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプの交換の目安として、本機では1,700時間使用すると電源投入時にスクリーンにランプの交換を促すメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、光源ランプの交換をサービス実施店にご依頼ください。

光源ランプは2,000時間使用すると寿命となります。そのままご使用になると、故障の原因になります。また、寿命を超えて使用した場合、まれに光源ランプが破損します。

内部の掃除

スクリーン内部の掃除は、サービス実施店にご依頼ください。

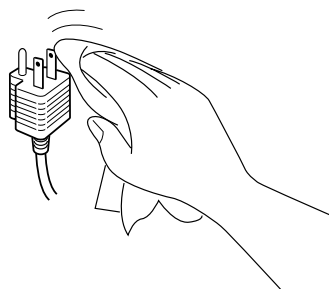
電源プラグの清掃

⚠ 注意



- 電源プラグは、年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

電源プラグは、定期的に乾いた布でホコリを取り除きます。



アフターサービスについて

- 保証書は、必ず『販売店・サービス実施店』など所定事項の記入をお確かめください。保証書記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。本機には、サービス用の部品が同梱されております。保証書とともに保管してください。
- 操作方法や機器のトラブルのお問い合わせ、または消耗品などのご注文や、機器の移転などのご用命は、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。
- 本機の光源ランプには寿命があり、寿命は故障ではありません。光源ランプが約 1,700 時間点灯すると、消耗して寿命となるメッセージがスクリーンに表示されます。このメッセージが表示された場合は、すみやかにサービス実施店に光源ランプの交換をご依頼ください。
- 日本国外へ移動したときは、保守サービスは負いかねますので、ご了承ください。
- 保証期間終了後の修理については、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。



付録



パソコンからの本機の制御

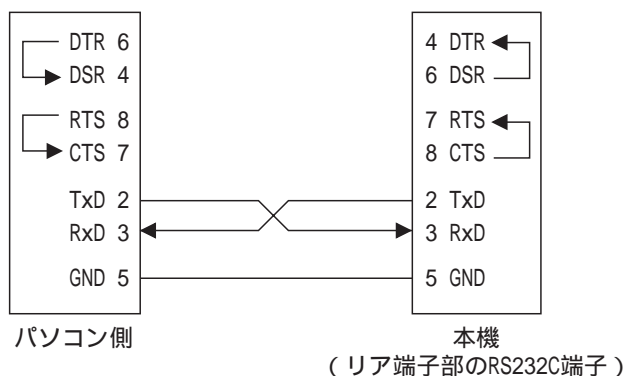
本機のリア端子部のRS232C端子とパソコンのRS232C端子とをRS232Cクロスケーブルで接続して、パソコンから本機表示部の機能を制御できます。

パソコンで制御できる表示部の機能

- ・電源のオン/オフ
- ・画面表示のオン/オフ
- ・異常の有無
- ・ボリュームの調整
- ・入力信号の切り替え
- ・ミュートのオン/オフ

インターフェース

プロトコル	RS232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	7 [bit]
パリティ	無し
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	無し



- ・ リア端子部の RS232C 端子のピン配列は、DTE 仕様です。
- ・ RS232C による制御は、RXD、TXD、GND の 3 つの信号を使用しています。
他のピンは NC (未接続) です。

RXD信号 : ピン2 (入力)、TXD信号 : ピン3 (出力)、GND信号 : (ピン5)

制御コマンド構成

制御コマンドは、ファンクションコード（2バイト）とデータコード（0~2バイト）で構成されています。

ファンクションコードの第1バイトのビット6~4は「コマンドの種類」を示し、ビット3~0は「データコードの長さ」を示します。

ファンクションコードの第2バイトは、「コマンドの内容」を示します。

データコードは、ファンクションコードに続く「データ情報」を示し、コマンドの種類およびコマンドの内容により本コードの有無（情報の有無）が変わります。データコードがある場合は、ファンクションコードの第1バイトのビット3~0でそのバイト長が指定されています。

ファンクションコード		データコード	
第1バイト		第2バイト	
0~2バイトのデータ			
ビット6~4 コマンドの種類	ビット3~0 データコード長	ビット6~0 コマンドの内容	(データ情報)

コマンドの種類

コマンドの種類（第1バイトのビット6~4）は、「コマンドの内容」の手順や方向を示し、次のものがあります。

コード	コマンドの種類	送受信の方向	処 理
4h (100)	デフォルト設定コマンド	受信 (パソコン 本機)	初期状態に戻す
3h (011)	設定コマンド	受信 (パソコン 本機)	機能を設定する
2h (010)	質問コマンド	受信 (パソコン 本機)	設定状態を確認する
1h (001)	回答コマンド	送信 (本機 パソコン)	正常受信時の応答
0h (000)	エラーコマンド	送信 (本機 パソコン)	未定義コードの受信
7h (111)	フレームエラーコマンド	送信 (本機 パソコン)	受信データ不足による タイムアウト

コマンドの内容

コマンドの内容（第2バイト）はファンクション（機能）を示し、次のものがあります。

コード	ファンクション（機能）
11h	電源 ON/OFF
21h	ビデオ/RGBの入力信号
23h	音量調整
24h	ミュート ON/OFF

制御シーケンス

本機は、電源の投入後、受信モードとなります。パソコンから本機への制御コマンド(デフォルト設定コマンド/質問コマンド/設定コマンド)の送信に対して、本機は応答コマンド(回答コマンド/エラーコマンド/フレームエラーコマンド)の送信で応答します。本機が応答コマンドを送信している間は、受信を受付けません(半二重)。

コマンド送受信時の詳細手順

1. パソコンから本機へ制御コマンドの送信後、および本機からパソコンへ応答コマンドの送信後には、40ms以上の時間をあけてください。
2. パソコンから本機へ制御コマンドを送信する場合、制御コマンドを構成するバイト間は、500ms以内にしてください。
3. パソコンから本機へコマンドを送信すると、ファンクションコードの第1バイトのデータコード長とコマンドごとに必要なデータ長がチェックされます。500ms以内に所定の長さのデータコードを受信できない場合(所定の長さに対して不足した場合)に、本機はパソコンに応答コマンドのフレームエラーコマンドで応答します。
所定の長さより多くデータコードが受信された場合には、本機はそのデータコードを無視します。
4. 本機がフレームエラーコマンドで応答した場合、パソコンから何らかの制御コマンドの送信があるまで1秒間隔で10回までのフレームエラーコマンドを送信します。
5. 本機が未定義のファンクションコードないしデータコードを受信した場合には、応答コマンドのエラーコマンドで応答します。
6. メニュー表示中にパソコンから本機へ制御コマンドが送信された場合、メニュー表示をオフにして実行されます。また通信中は、リモコンとコントロールパネルからのキーの入力は無効となります。

操作に関する機能

操作に関する機能は、本機の基本操作の設定を行います。本機が次の制御コマンドを正しく認識すると、該当する動作を行い、回答コマンドで応答します。

ファンクション	ファンクションコード	データコード	説明
電源 ON	31h 11h	7Fh	電源のオン/オフ
電源 OFF	31h 11h	7Eh	
ビデオ 1	31h 21h	01h	入力信号の切り替え
ビデオ 2	31h 21h	02h	
RGB1	31h 21h	04h	
RGB2	31h 21h	05h	
音量調整	31h 23h	00h ~ 3Fh	音量設定を 0 ~ 63 のレベルで指定する
ミュート ON	31h 24h	00h	ミュートのオン/オフ
ミュート OFF	31h 24h	01h	

例えば、本機がビデオ1のファンクション「31h、21h、01h」を受信して正常に処理が実行された場合、回答コマンド「11h、21h、01h」で応答します。

ただし、電源ON/OFFのファンクションに対しては、電源の状態がデータコードに反映されます。

回答コマンドのデータコード（操作の結果）は、「回答コマンド」（P.115）を参照してください。

デフォルト設定コマンド

デフォルト設定コマンドは、本機の状態をデフォルト（出荷時設定）に戻します。本コマンドにデータコードはありません。本機がデフォルト設定コマンドを正しく認識すると、該当する動作を行い、回答コマンドで応答します。

ファンクション	ファンクションコード	データコード	説明
電源	40h 11h	なし	電源の状態を応答
入力	40h 21h	なし	初期の入力信号の状態を戻す
音量調整	40h 23h	なし	初期の音量レベルに戻す
ミュート	40h 24h	なし	ミュートを解除する

本機が回答コマンドで応答する際、デフォルトの状態をあらわす1バイトのデータコードが付加されます。回答コマンドに付加されるデータコードは、次の通りです。

電源	7Fh（電源オン）
入力	04h（RGB1）
音量調整	14h（音量20）
ミュート	00h（MUTEオフ）

電源コマンドを受信した場合は、初期状態の設定がないので、本機の送信する回答コマンドは「11h、11h、7Fh」となります。

質問コマンド

質問コマンドは、本機の状態をモニタします。本コマンドにデータコードはありません。本機の状態は変化しません。本機が質問コマンドを正しく認識すると、該当する動作（モニタ）を行い、回答コマンドで応答します。

ファンクション	ファンクションコード	データコード	説明
電源	20h 11h	なし	電源の状態を通知
入力	20h 21h	なし	入力信号の状態を通知
音量調整	20h 23h	なし	ボリュームの状態を通知
ミュート	20h 24h	なし	ミュートの状態を通知

本機が回答コマンドで応答する際、データコード（本機の状態）が付加されます。電源コマンドを使用すると、本機の内部で検出されている異常をモニタできます。

回答コマンドに付加されるデータコードは、「 回答コマンド」(P.115)を参照してください。

回答コマンド

回答コマンドは、デフォルト設定コマンド、操作コマンド、質問コマンドに対する応答として本機からパソコンに送信されます。

回答コマンドのファンクションコードとデータコードはつぎの通りです。

ファンクション	ファンクションコード	データコード	説明
電源 ON 状態	11h 11h	011xxxx0B	電源のファンクションの回答
電源 OFF 状態	11h 11h	011xxxx1B	
ランプ正常	11h 11h	011xxx0xB	
ランプ異常	11h 11h	011xxx1xB	
扉正常	11h 11h	011xx0xxB	
扉異常	11h 11h	011xx1xxB	
ファン正常	11h 11h	011x0xxxB	
ファン異常	11h 11h	011x1xxxB	
温度正常	11h 11h	0110xxxxB	
温度異常	11h 11h	0111xxxxB	
RGB1	11h 21h	04h	入力信号のファンクションの回答
RGB2	11h 21h	05h	
ビデオ 1	11h 21h	01h	
ビデオ 2	11h 21h	02h	
音量調整	11h 23h	xxh	音量調整のファンクションの回答 xxh は 00h ~ 3Fh
ミュート ON	11h 24h	00h	ミュートのファンクションの回答
ミュート OFF	11h 24h	01h	

エラーコマンド

未定義のファンクションコードを受信した場合または選択中の入力信号に対して適用できない場合、00h yyhの形式でコマンドエラーで応答します（yyhは、パソコンから送信された制御コマンド中ファンクションコードの第2バイト - コマンドの内容 - です）。

未定義のデータコードを受信した場合または現在の状態に対して適用できない場合、コマンドの種類（ファンクションコード第1バイトのビット6～4）を0hに変更し、ファンクションコード0xh yyh、データコードXの形式で応答します。

エラーの状態	ファンクションコード	データコード	説明
ファンクションコード部でエラー検出	00h yyh	(なし)	未定義のコマンドの内容（yyh）を受信した場合の応答。
データコード部でエラー検出	0xh yyh	X	未定義のデータコード（X）を受信した場合の応答。データコードの長さは、xhの指定によります。

フレームエラーコマンド

パソコンが制御コマンドを送信している際に本機で必要な情報が500ms以内に受信されなかった場合、フレームエラーコマンドで応答します。

エラーの状態	ファンクションコード	データコード	説明
フレームエラーを検出	70h 70h	なし	規定時間内に必要な情報が受信されない。

フレームエラーを検出した場合、パソコンから何らかの制御コマンドを受信するまで1秒間隔で最大10回までフレームエラーコマンドを送信します。

仕様

製品仕様

商品名	MB500		
表示装置	スクリーンサイズ	対角：1,320mm (52型)	
	有効表示サイズ	1,056mm × 792mm	
	アスペクト比	4 : 3	
	表示画素数	1,024 × 768ドット (XGA)	
	表示色数	1,677万色	
	視野角	水平：130°、垂直：70°	
	輝度	700cd / m ²	
映像	入力	RGB信号 (PC)	2系統 (PC 1、2) 前部：ミニD-SUB15P 後部：ミニD-SUB15P
		ビデオ信号	2系統 (ビデオ 1、2) 前部：RCAピンジャック/Sビデオ (Sビデオ優先自動切替) 後部：RCAピンジャック/Sビデオ (Sビデオ優先自動切替)
	出力	RGB信号	1系統 後部：ミニD-SUB15P (ビデオ信号系は出力されません)
音声	ライン入力 RGB信号 VIDEO信号	4系統	前部PC1：RCAピンジャック (ステレオ) (PC1) 前部ビデオ1：RCAピンジャック (ステレオ) (VIDEO1) 後部PC2：RCAピンジャック (ステレオ) (PC2) 後部ビデオ2：RCAピンジャック (ステレオ) (VIDEO2)
	出力	2系統 (選択された映像系統に連動)	内部スピーカー：3.5W+3.5W ラインアウト：RCAピンジャック (ステレオ)
タッチ 入力装置	方式	光薄膜遮断検知方式	
	入力方法	指または付属ペン	
	TOUCH RESOLUTION	1.03mm / ポイント	
	タッチ信号 インターフェイス	2系統	前部：USB Bタイプ/シリアル D-SUB9P (USB優先、PC1) 後部：USB Bタイプ/シリアル D-SUB9P (USB優先、PC2)
	制御ソフトウェア	Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XP対応 リコータッチパネルドライバ (同梱)	
全般	外形寸法	W：1,221mm D：544mm H：1,414mm (突起部を含まず)	
	温湿度条件	温度5～35 湿度20～90% (但し結露しないこと)	
	電源電圧	100V (50/60Hz)	
	消費電力	約200W	
	質量	約82kg (転倒防止金具を含む)	
レーザー放射*	クラス1レーザー製品 波長：653nm 出力：200μW パルス周波数：100Hz パルス幅：5ms		
主な添付品 (ソフトウェア除く)	電子ペン、マグネットポケット、ワイヤレスリモコン、保証書、使用説明書、 変換アダプタ (3-2P)、各種ケーブル (CRTケーブル、USBケーブル、パソコン用オーディオケーブル：各1)、転倒防止金具 (2)、サービス用調整ピン、六角レンチ (1)		

(*) 本機はJISC6802「レーザー製品の放射安全基準」を遵守し、クラス1に該当します。

(注) 上記の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

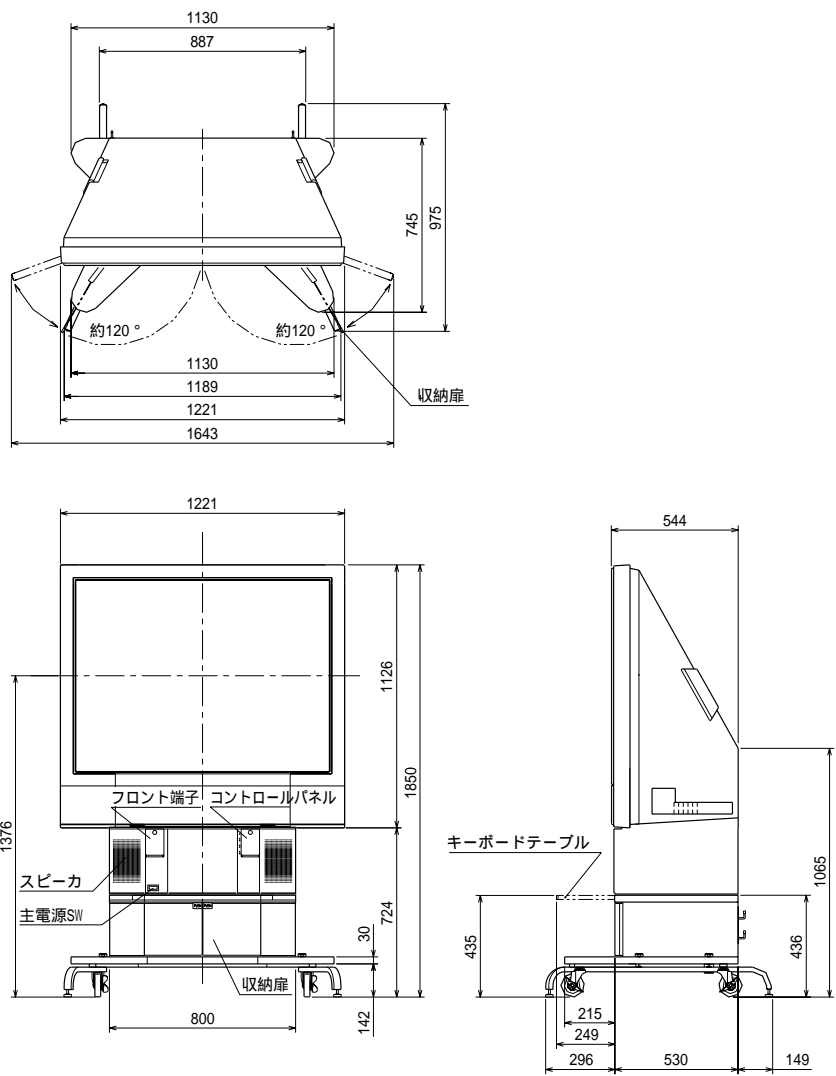
この仕様表に掲載されている商品名、会社名は各社の商標及び登録商標です。

オプション製品仕様

商品名		専用台
全般	外形寸法	W : 1,130mm D : 745mm H : 436mm (本体搭載時 W : 1,221mm D : 745mm H : 1,850mm 転倒防止スタンド含まず)
	収納部寸法	中央部 W : 502mm D : 505mm H : 219.5mm 左・右部 W : 113mm D : 324mm H : 234.5mm
	キーボードテーブル	上面寸法 : 幅601mm、奥行き249mm スライド収納、耐荷重5kg
	質量	約34kg (転倒防止スタンド含む)
主な添付品		転倒防止スタンド (2本)

(注) 上記の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

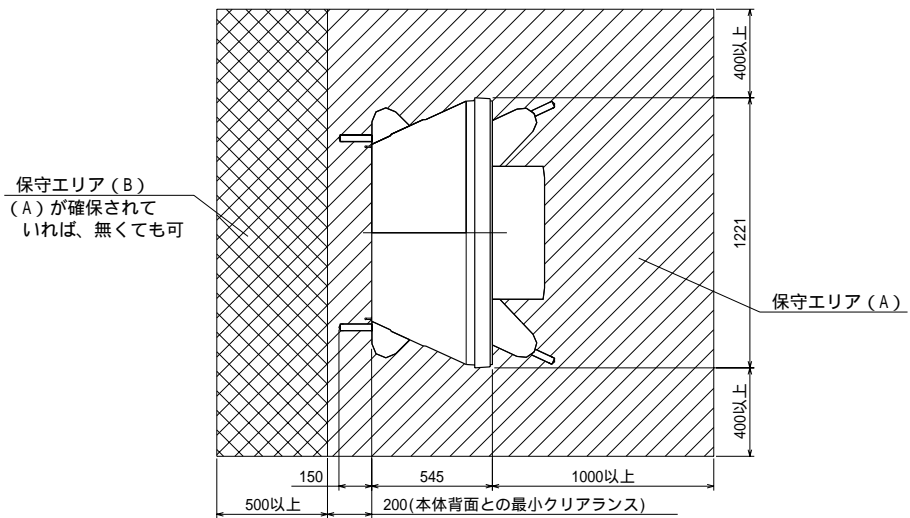
外形寸法図



単位：mm

設置スペース

本機背面と壁面などを200mm以上離して設置してください。また、カスタマーエンジニアがメンテナンス（特に故障時）の作業ができるよう、下図の保守エリアを確保してください。このエリア内に設置する物品などは、移動可能な物にしてください。保守エリアを確保できない場合は、サービス実施店にご相談ください。



単位：mm

登録されているRGB信号形式

解像度 (水平×垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード	表示モード	表示画素数 (水平×垂直)
720×400	37.9	85.0	VESA	TEXT	拡大	
640×480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)	拡大	1024×768
640×480	35.0	66.7		MAC 13"mode	拡大	1024×768
640×480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)	拡大	1024×768
640×480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)	拡大	1024×768
640×480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)	拡大	853×640
800×600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)	拡大	1000×750
800×600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)	拡大	1000×750
800×600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)	拡大	1000×750
800×600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)	拡大	1000×750
800×600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)	拡大	800×600
862×624	49.7	74.5		MAC 16"mode	拡大	980×735
1024×768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)		1024×768
1024×768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)		1024×768
1024×768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)		1024×768
1024×768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)		1024×768
1152×864	67.5	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小	988×741
1280×960	60.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小	1024×768
1280×1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小	960×468
1280×1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小	960×768

- お使いのパソコンの機種によっては、表示できないことがあります。
- パソコンを接続する場合、端子形状、信号レベル、タイミング、解像度等の適合性をご確認ください。
- 入力信号によってはフルサイズで表示しないものがあります。表示画素数でご確認ください。

索引

英数字

2点タッチ有効範囲, 74
FIFOバッファの設定
 Window 95, 64
 Window NT, 66
LAMPインジケーター, 83
ON/スタンバイインジケーター, 83
PC1入力端子, 5
PC2入力端子, 6
PC入力ボタン
 コントロールパネル, 4, 34
 ワイヤレスリモコン, 7, 33
RGB, 45
RGB信号形式, 103
RS232C通信プロトコル設定, 76
SC連絡先, 77
SCログ, 78
SYNC ON G
 その他メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
TEMPインジケーター, 83
VIDEO, 45
VIDEO/S-VIDEO入力時の自動調整, 45

あ

青色の濃さの調整, 44
赤色の濃さの調整, 44
明るさの調整, 44
アジャスター, 11
アスペクト, 44

い

位置調整モード, 38
位置補正開始, 70
位置補正值登録, 71
一般設定, 69
 初期設定, 69
 バージョン情報, 69
移動
 専用台付き本機, 12
 本機単体, 8
移動用取っ手, 3, 12

色合いの調整, 44
色の濃さの調整, 44
インジケーター, 2, 4, 83

う

ウォームアップ, 31, 84

え

映像調整メニュー, 40
 映像メニュー, 44
 その他メニュー, 46
 入力メニュー, 45
 パソコン用メニューの表示, 40
 ビデオ用メニューの表示, 41
 表示メニュー, 46
 無信号時メニューの表示, 41
 無信号時メニュー, 47
映像調整メニューの切り替え, 42
映像の拡大表示, 38
映像の消去, 38
映像の縦横比の選択, 44
映像の調整例, 43
映像メニュー, 44
 青色の濃さ, 44
 赤色の濃さ, 44
 明るさ, 44
 アスペクト, 44
 色合い, 44
 色の濃さ, 44
 画質, 44
 クロック位相, 44
 コントラスト, 44
 垂直位置, 44
 水平位置, 44
 水平サイズ, 44
映像メニューの表示方法の切り替え, 42

お

オートアジャスト, 45
尾びき, 72
尾びきを自動削除する, 74
ON/スタンバイボタン, 31
音量

- その他メニュー, 46
- 無信号時メニュー, 47
- 音量の調整
 - コントロールパネル, 39
 - その他メニュー, 46
 - 無信号時のメニュー, 47
 - ワイヤレスリモコン, 39
- 音量ボタン
 - コントロールパネル, 4, 34
 - ワイヤレスリモコン, 7, 33

か

- 外部機器の収納, 20
- 外部機器の接続
 - フロント端子部, 21
 - リア端子部, 22
- 外部制御端子, 6
- 拡大ボタン, 7, 33
- 拡大モード, 38
- 画質の調整, 44
- かすれ, 72
- かすれ/尾びき補正, 72
- かすれ/尾びき補正開始, 72
- かすれ自動検知する, 74
- 画面位置ボタン, 7, 33
- 管理情報, 76
 - RS232C通信プロトコル設定, 76
 - SC連絡先, 77
 - 情報, 77

き

- キーストン補正
 - 表示メニュー, 46
 - 無信号時メニュー, 47
- キーボードケーブルの配線, 49
- キーボードテーブル, 2, 48
- キーボードテーブルの引き出し, 48
- キャスター, 2, 11
- キャスターのロック, 11

く

- クールダウン, 31, 32, 84
- クリック音を鳴らす, 74
- クロック位相の調整, 44

け

- ケーブルクランプ, 49
- ケーブル挿入口, 3, 22

検出ユニット, iv

こ

- 光源ランプ, 88
- 後面パネル, 3, 22
- コントラストの調整, 44
- コントロールパネル, 2, 4, 31
 - PC入力ボタン, 4, 34
 - インジケーター, 4
 - 音量の調整, 39
 - 音量ボタン, 4, 34
 - 電源ON/スタンバイボタン, 4, 34
 - パソコン映像の切り替え, 36
 - ビデオ映像の切り替え, 35
 - ビデオ入力ボタン, 4, 34
- コントロールパネルの使い方, 34

し

- 自己診断, 77
- 自動オフ
 - その他メニュー, 46
 - 無信号時メニュー, 47
- 自動調整ボタン, 7, 33
- 主電源スイッチ, 2, 30
- 消音ボタン, 7, 33
- 情報, 77
- 初期画面
 - 表示メニュー, 46
 - 無信号時メニュー, 47
- 初期設定, 69, 70
 - パネル設定, 73
 - パネル補正, 70
- シングルメニュー, 42

す

- 垂直位置の調整, 44
- 水平位置の調整, 44
- 水平サイズの調整, 44
- スクリーン, 2
- スタンバイ状態, 31, 84
- スピーカー, 2

せ

- 接続ケーブルの配線方法, 22
- 設置
 - 専用台付き本機, 15
 - 本機単体, 9
- 設置場所

専用台付き本機, 15
本機単体, 9
専用台, 2, 11, 24
専用台からの本機の取り外し, 16

そ

その他メニュー, 46
SYNC ON G, 46
音量, 46
自動オフ, 46
タイマー, 46
表示言語, 46
メニュー色, 46

た

タイマー
その他メニュー, 46
無信号時メニュー, 47
タッチ操作, 53
タッチパネル, 52
タッチパネル位置補正, 73
タッチパネル仮想座標設定, 75
タッチパネル機能
SCログ, 78
一般設定, 69
管理情報, 76
自己診断, 77
初期設定, 70
タッチパネル機能アイコン, 69
タッチパネル機能の起動, 68
タッチパネル機能の終了, 68
タッチパネル端子
フロント端子部, 5
リア端子部, 6
ダブルクリック, 53
ダブルクリック範囲/速度, 73
単独メニューボタン, 7, 33

つ

通常メニュー, 42
通信ポートの詳細設定
Windows 95, 64
Windows NT, 66
通風孔, 3

て

電源オン, 30
電源オフ, 32

電源のオン/スタンバイ, 31
電源ON/スタンバイボタン, 4, 34
電源コード, 3, 23
電池の交換, 19
転倒防止, 11
転倒防止金具, 9
取り付けかた, 10
取り外しかた, 10
転倒防止スタンド, 2, 11, 24
位置変更, 13
取り付け, 25
取り外し, 14, 28

に

入力切替ボタン, 7, 33
入力メニュー, 45
RGB, 45
VIDEO, 45
オートアジャスト, 45

は

バージョン情報, 69
パソコン映像の位置調整, 37
パソコン映像の切り替え, 36
パソコン映像の自動調整, 37
パソコン収納部, 2
パソコンのRGB入力時の自動調整, 45
パソコンのRGB入力周波数の表示, 45
パソコンの収納, 20
パソコンの接続
フロント端子部への接続, 21
リア端子部への接続, 22
パネル設定, 73
2点タッチ有効範囲, 74
尾びきを自動削除する, 74
かすれ自動検知する, 74
クリック音を鳴らす, 74
タッチパネル位置補正, 73
タッチパネル仮想座標設定, 75
ダブルクリック範囲/速度, 73
パネル補正, 70
位置補正開始, 70
かすれ/尾びき補正開始, 72
反転表示
表示メニュー, 46
無信号時メニュー, 47

ひ

左クリック, 53

ビデオ1入力端子, 5
ビデオ2入力端子, 6
ビデオ映像の切り替え, 35
ビデオ映像の自動調整, 37
ビデオ収納部, 2
ビデオ信号方式の選択, 45
ビデオ入力ボタン
 コントロールパネル, 4, 34
 ワイヤレスリモコン, 7, 33
ビデオの収納, 20
ビデオの接続
 フロント端子部への接続, 21
 リア端子部への接続, 22
表示言語
 その他メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
表示メニュー, 46
 キーストン補正, 46
 初期画面, 46
 反転表示, 46
 ブランク, 46
標準ボタン, 7, 33

ふ

フック, 3, 14, 28
フロント端子部, 5
ブランク
 表示メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
ブランク画面色の選択
 表示メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
ブランクボタン, 7, 33
ブランクモード, 38
フロントカバー, 2, 87
フロント端子部, 2, 21
 PC1入力端子, 5
 ビデオ1入力端子, 5
 マイク入力端子, 5

ほ

方向ボタン, 7, 33
補正データの登録, 71
補正点, 71
本機の専用台への載せかた, 17, 27

ま

マイク入力端子, 5
マイクの接続, 39

マウスケーブルの配線, 49

み

右クリック, 54

む

無信号時メニュー, 47
 SYNC ON G, 47
 音量, 47
 キーストン補正, 47
 自動オフ, 47
 初期画面, 47
 タイマー, 47
 反転表示, 47
 表示言語, 47
 ブランク, 47
 メニュー色, 47

め

メッセージ
 タッチパネル機能の状態, 86
 プロジェクタの状態, 85
 フロント端子部の状態, 86
メニュー色
 その他メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
メニュー背景色の選択
 その他メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
メニュー表示言語の選択
 その他メニュー, 46
 無信号時メニュー, 47
メニューボタン, 7, 33

も

モニター出力端子, 6

り

リア端子部, 3, 6, 22
 PC2入力端子, 6
 外部制御端子, 6
 タッチパネル端子, 6
 ビデオ2入力端子, 6
 モニター出力端子, 6
リコータッチパネルドライバ, 55
 アンインストール, 67
 インストール (Windows 2000), 60
 インストール (Windows 95), 63

インストール (Windows 98) , 55
インストール (Windows Me) , 58
インストール (Windows NT) , 65
再インストール, 67
リモコン発光部, 7, 33

れ

レーザー光, iv
レーザー放射の仕様, iv

ろ

ロック付きキャスター, 2

わ

ワイヤレスリモコン, 7
PC入力ボタン, 7, 33
映像調整メニューの表示, 40
映像の拡大表示, 38
映像の消去, 38
音量の調整, 39
音量ボタン, 7, 33
拡大ボタン, 7, 33
画面位置ボタン, 7, 33
自動調整ボタン, 7, 33
消音ボタン, 7, 33
使用上の注意, 18
単独メニューボタン, 7, 33
電池の交換, 19
入力切替ボタン, 7, 33
パソコン映像の位置調整, 37
パソコン映像の切り替え, 36
パソコン映像の自動調整, 37
ビデオ映像の切り替え, 35
ビデオ映像の自動調整, 37
ビデオ入力ボタン, 7, 33
標準ボタン, 7, 33
ブランクボタン, 7, 33
方向ボタン, 7, 33
メニューボタン, 7, 33
リモコン発光部, 7, 33
ワイヤレスリモコンの使用範囲, 34
ワイヤレスリモコンの使い方, 33